

決算説明会

2027年3月期 第1四半期

ミネベアミツミ株式会社

2026年8月5日

1Qとして売上高、営業利益ともに過去最高

(億円)	2026年3月期		2027年3月期	前年同期比		前四半期比	
	1Q	4Q	1Q	増減	伸び率	増減	伸び率
売上高	3,669	4,322	4,266	+596	+16.3%	-56	-1.3%
営業利益	174	283	263	+89	+50.9%	-20	-7.0%
税引前利益	156	637	298	+142	+91.2%	-338	-53.2%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	109	492 *	213	+104	+95.6%	-279	-56.7%
基本的1株当たり 四半期利益 (円)	27.12	122.46 *	53.03	+25.91	+95.5%	-69.43	-56.7%

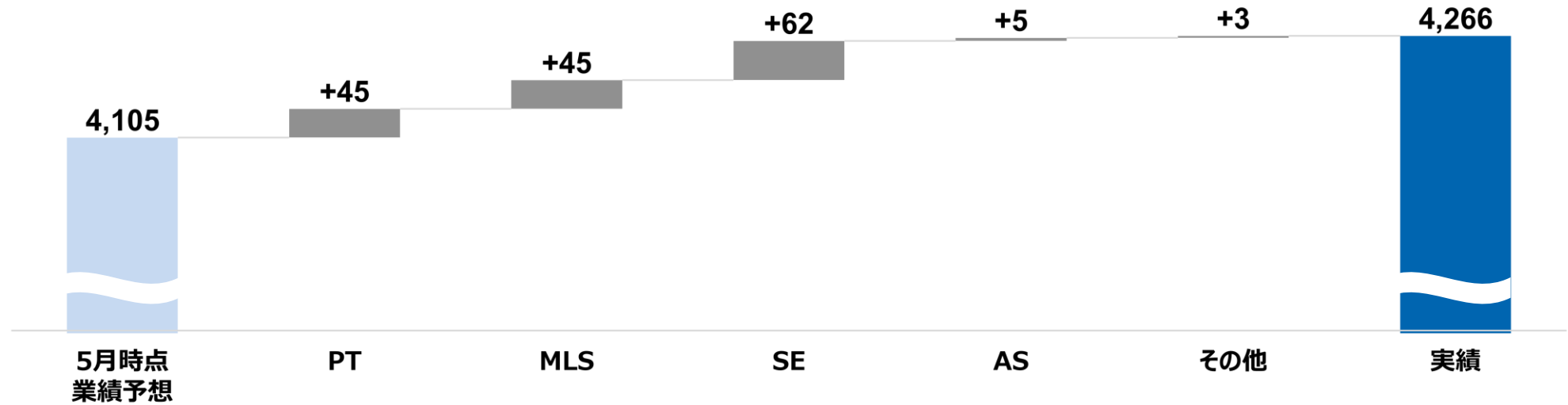
為替レート	2026年3月期		2027年3月期
	1Q	4Q	1Q
US\$	146.16円	155.95円	158.80円
ユーロ	162.02円	183.34円	184.85円
タイバーツ	4.36円	4.97円	4.91円
人民元	20.14円	22.37円	23.20円

* 特殊要因含む

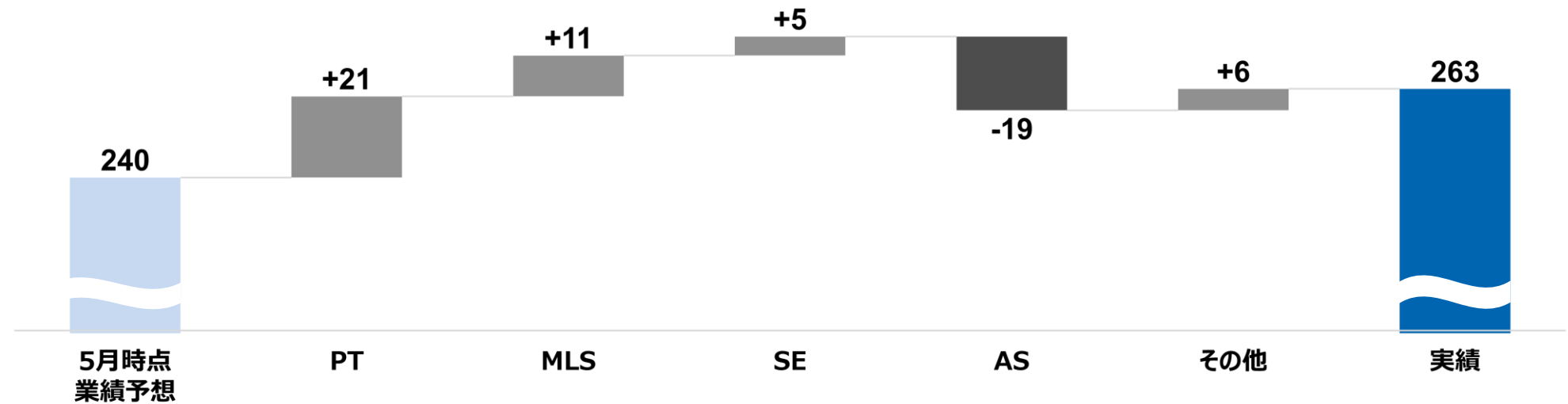
1Q実績 前回予想（2026年5月12日）からの差異

(億円)

売上高

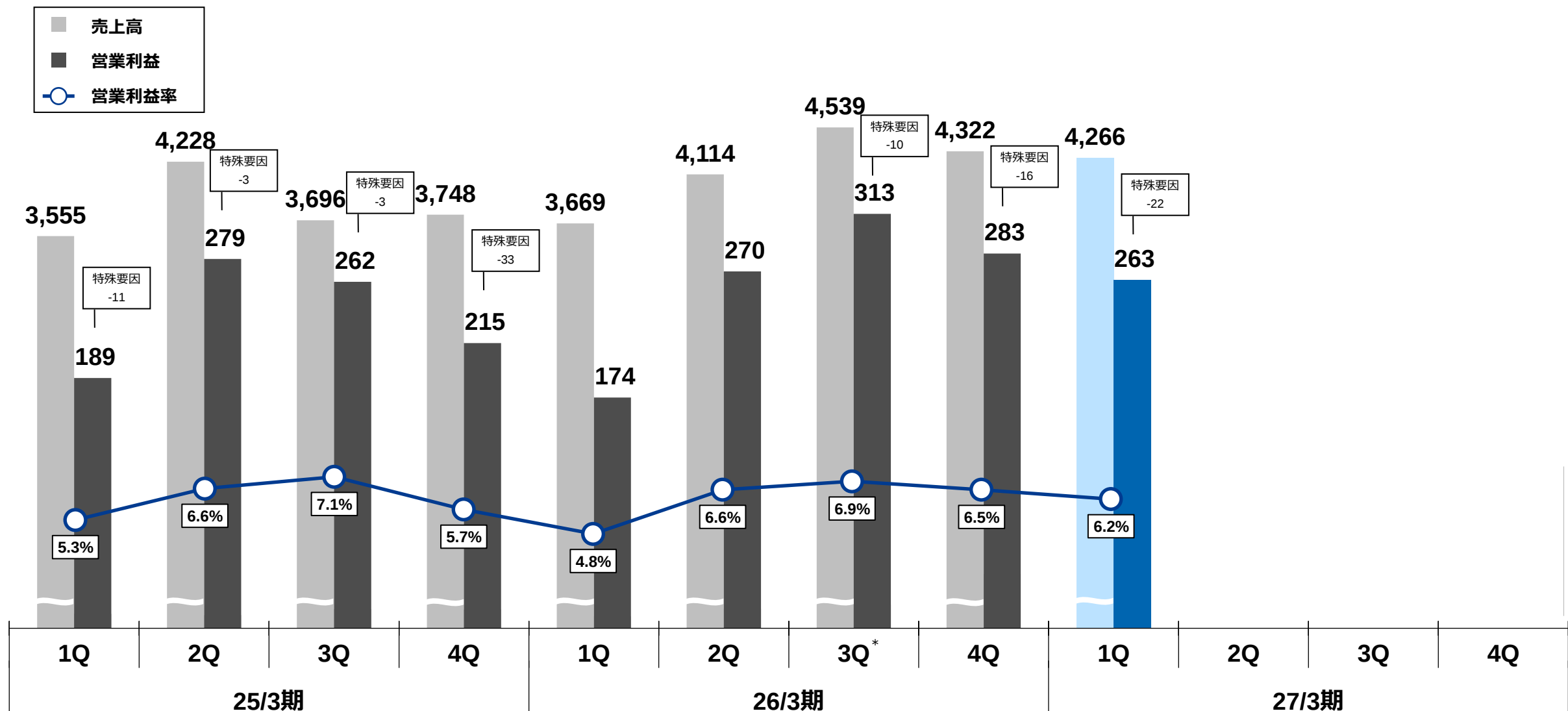


営業利益



売上高、営業利益、営業利益率の四半期推移

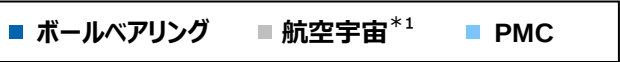
(億円)



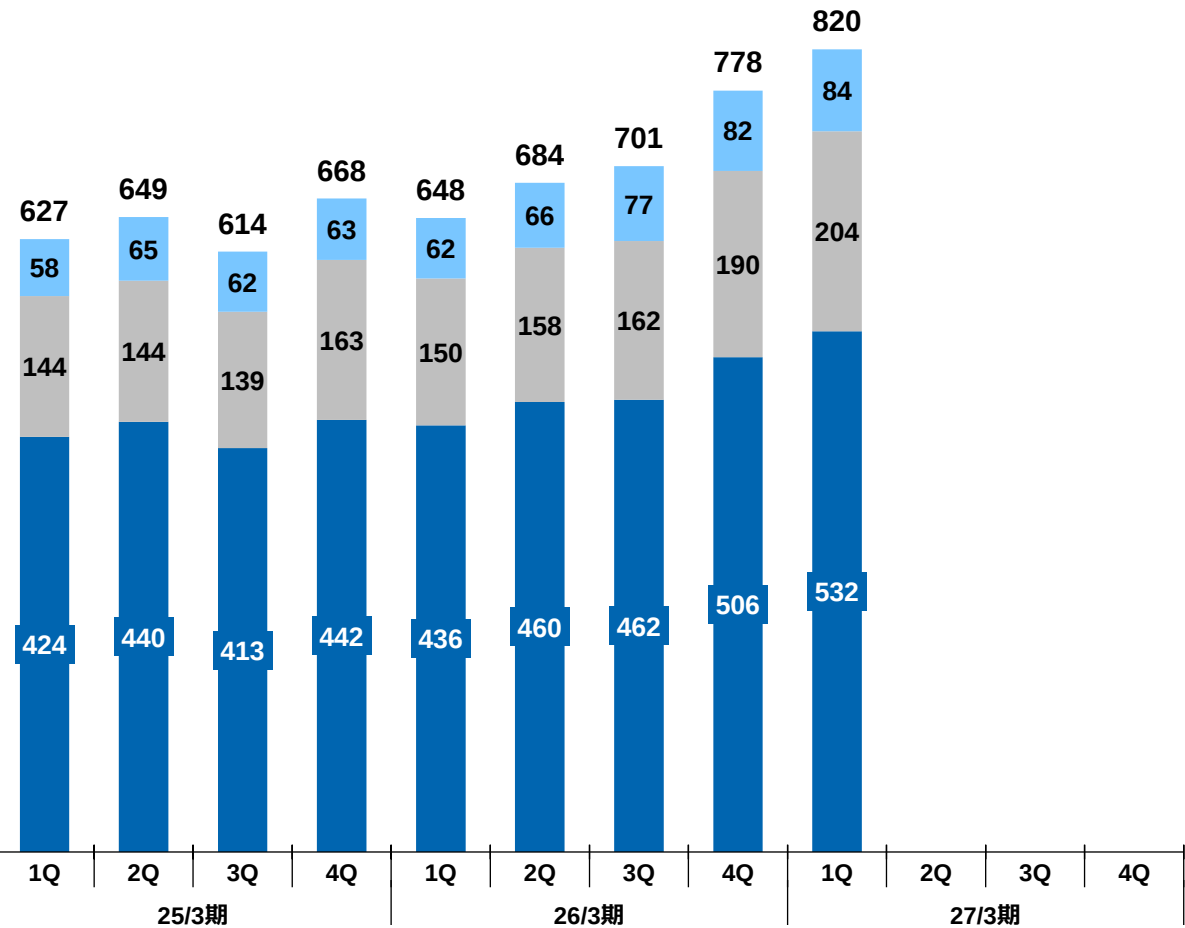
* ミネベアリニアモーションのPPA評価完了に伴い、2026年3月期第3四半期の営業利益を遡及修正

プレジジョンテクノロジーズ セグメント (PT) の四半期推移

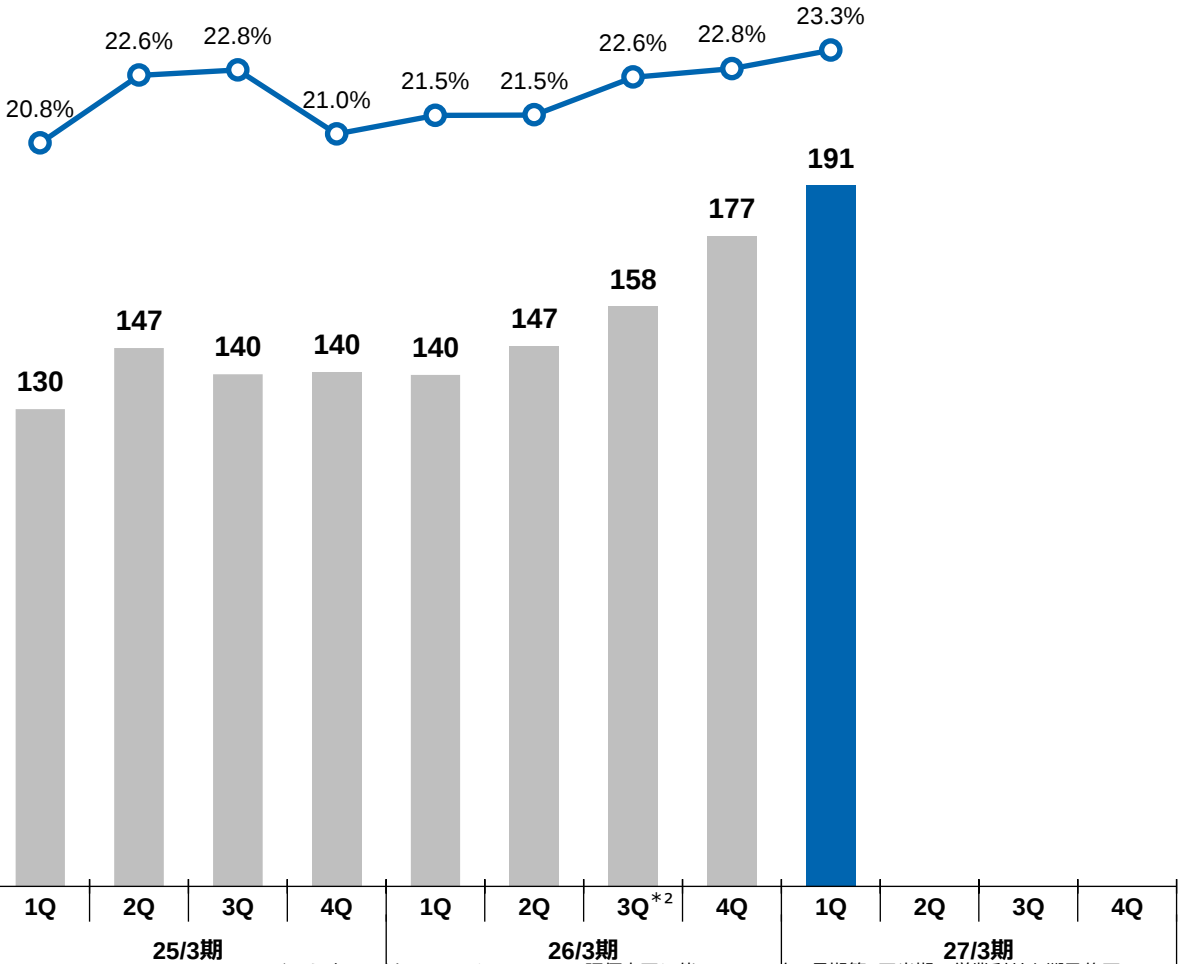
売上高 (億円)



*1 27/3期より、サブセグメント名をロッドエンド・ファスナーから航空宇宙に変更



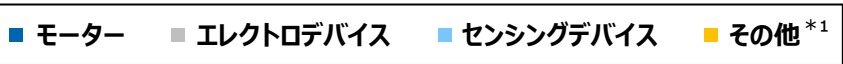
営業利益 (億円)



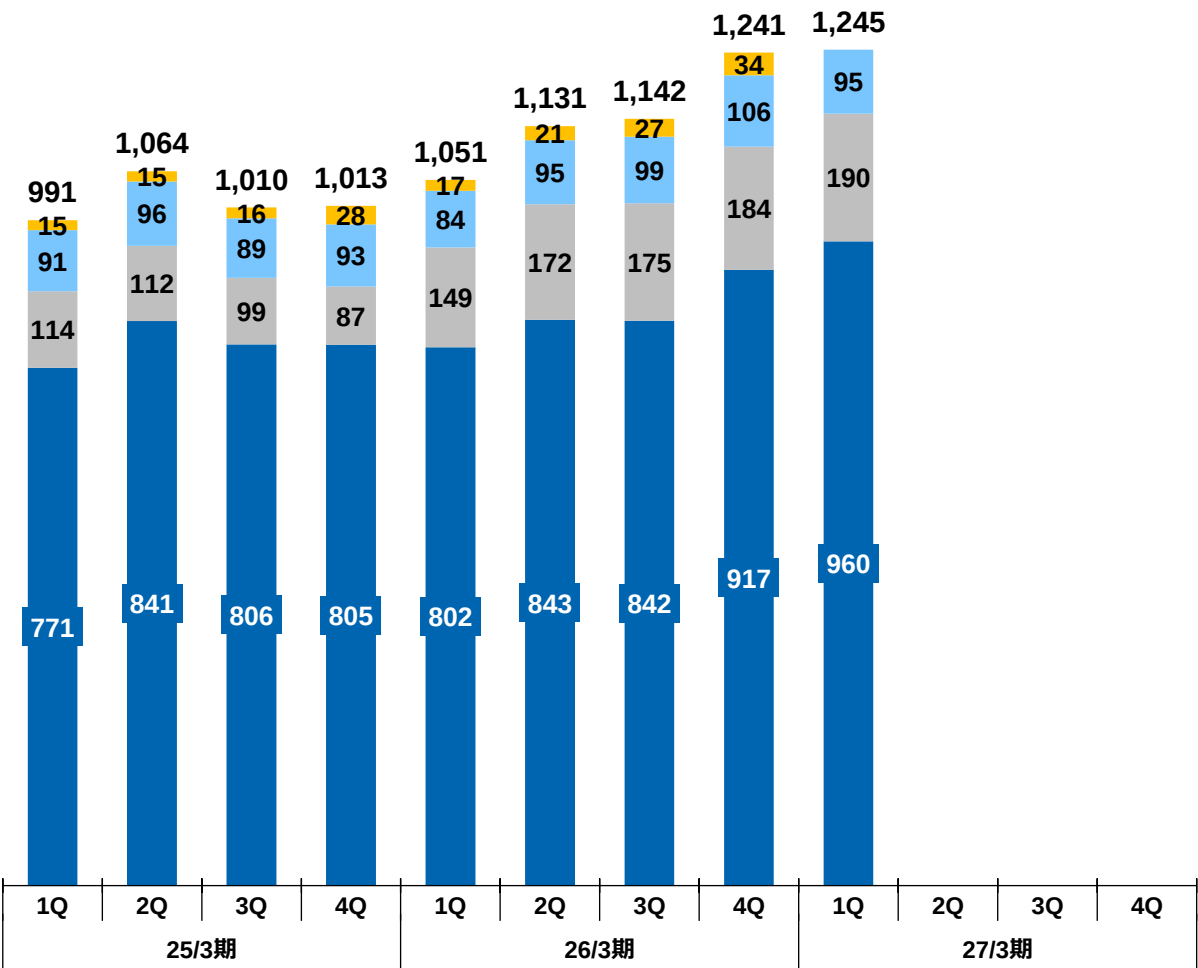
*2 ミネベアリニアモーションのPPA評価完了に伴い、2026年3月期第3四半期の営業利益を遡及修正
*3 過年度実績については、セグメント変更による組み換えは考慮していません

モーター・ライティング&センシング セグメント (MLS) の四半期推移

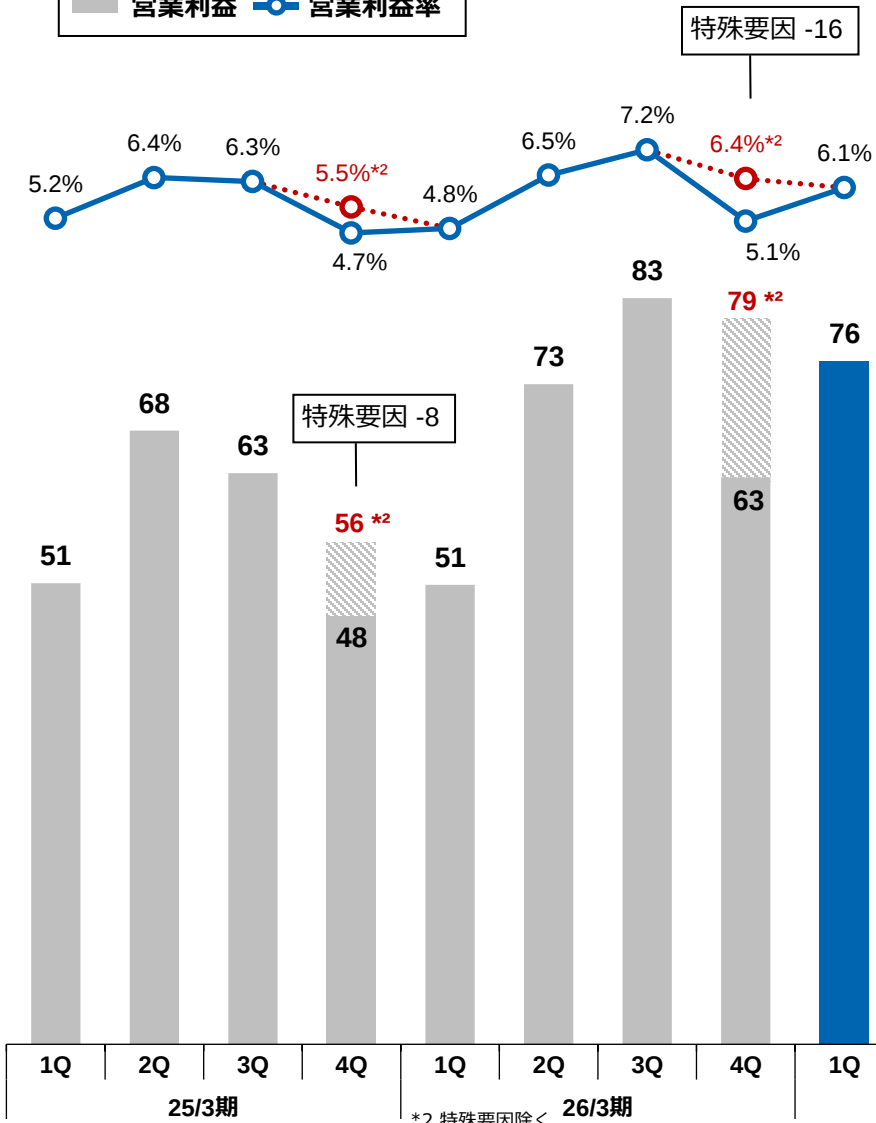
売上高 (億円)



*1 27/3期より、MLSのサブセグメントのその他に属していた航空機等大型加工製品をPTの航空宇宙に移管



営業利益 (億円)

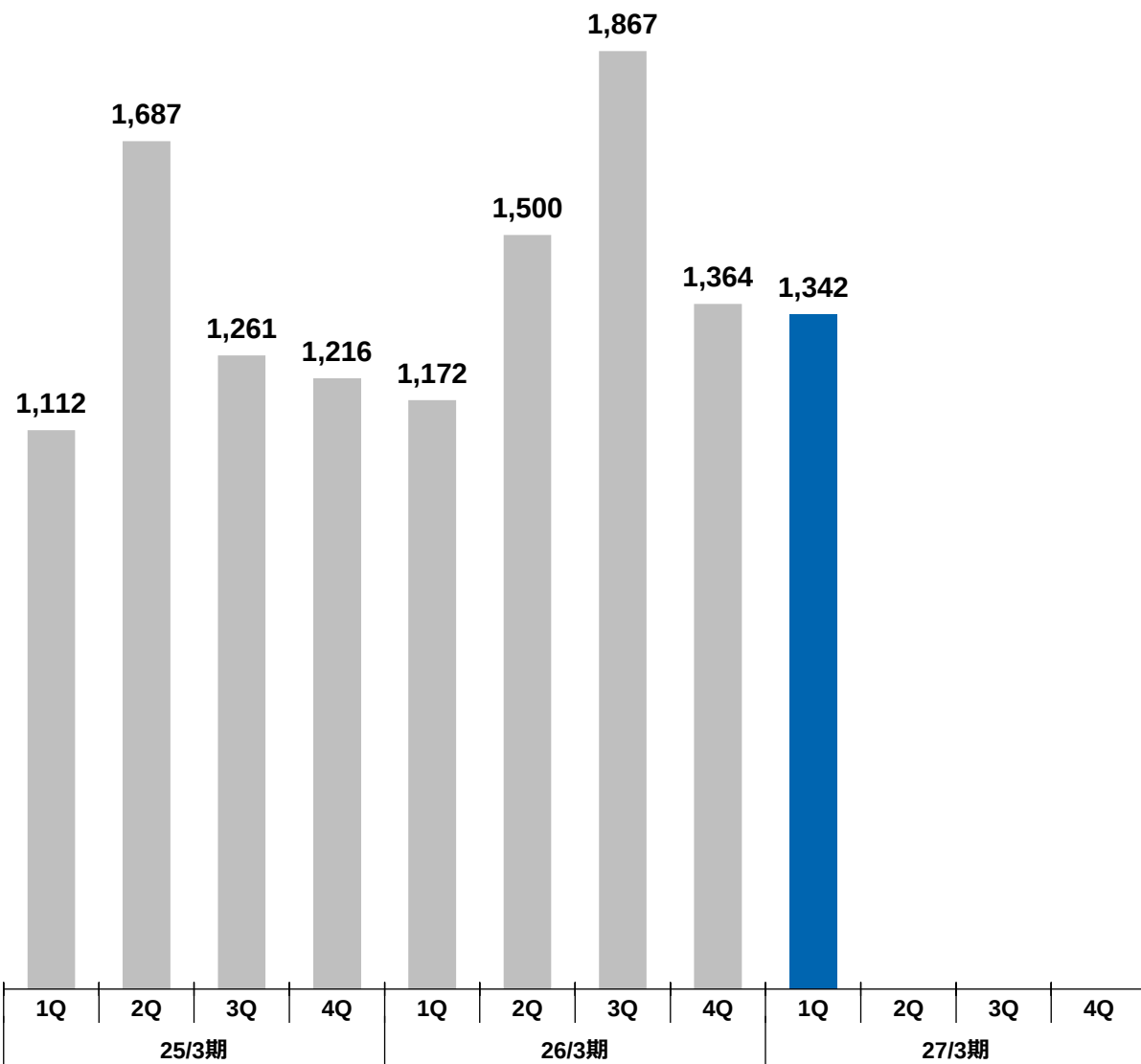


*2 特殊要因除く

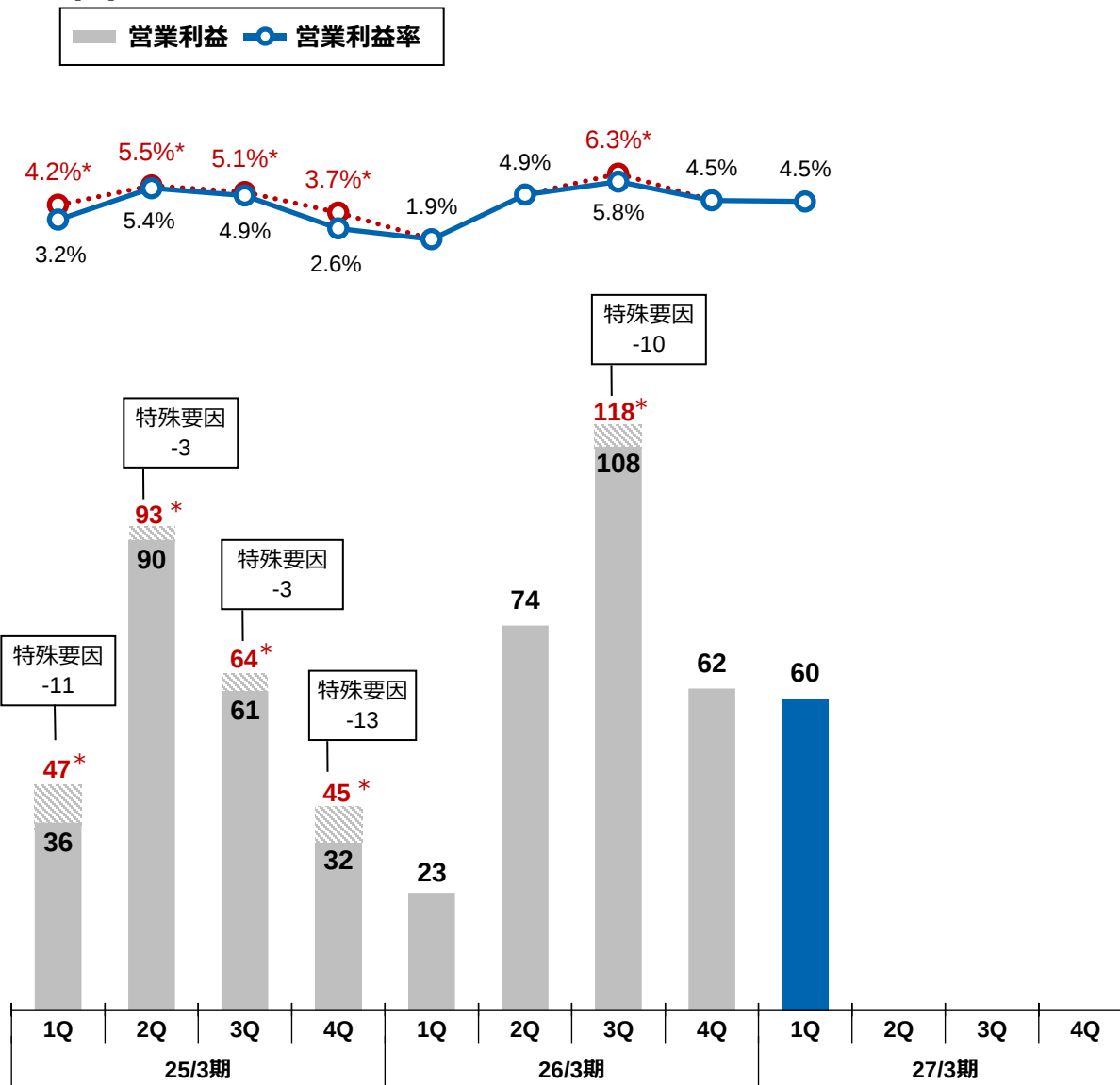
*3 過年度実績については、セグメント変更による組み換えは考慮していません

セミコンダクタ&エレクトロニクス セグメント (SE) の四半期推移

売上高 (億円)



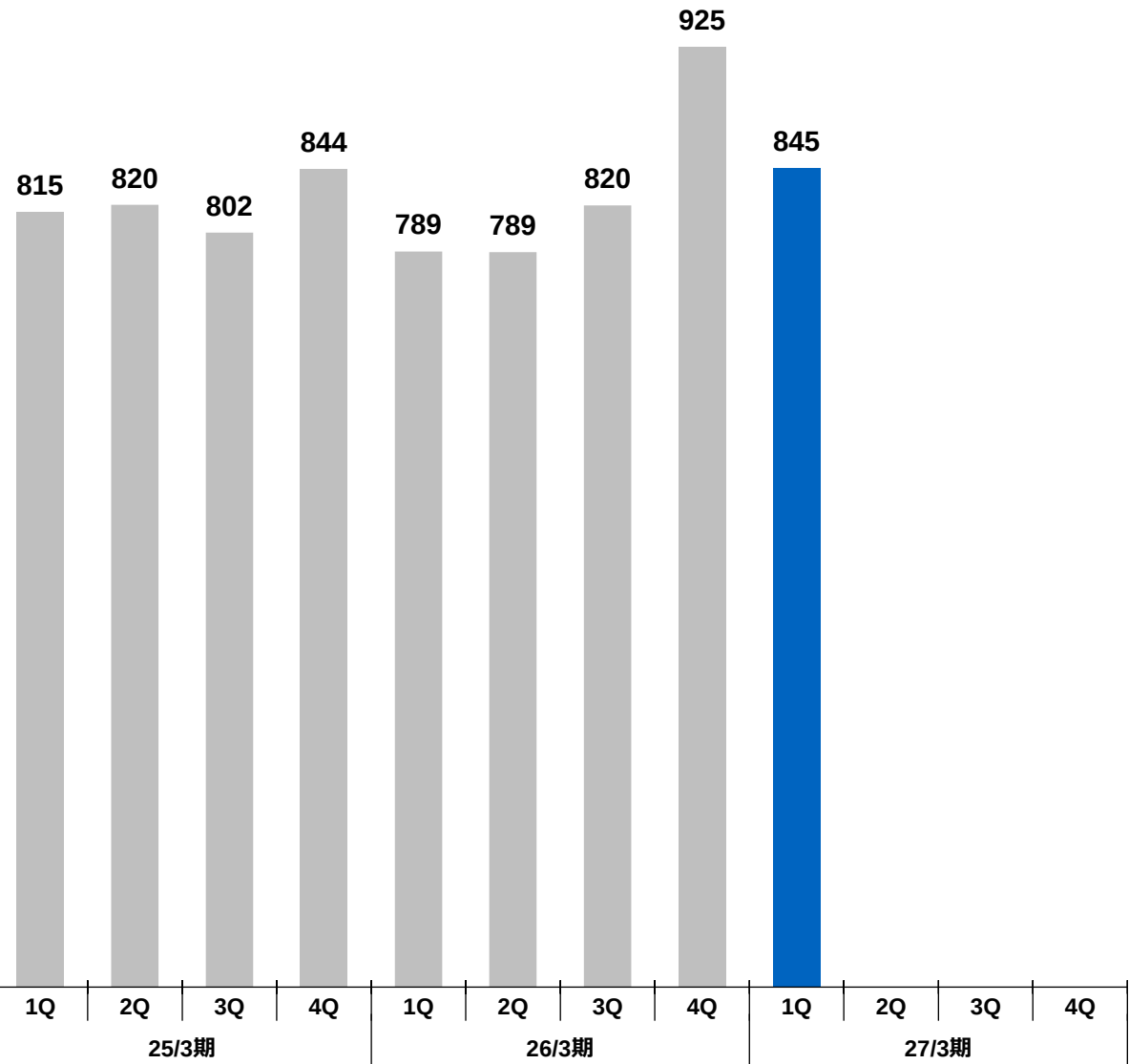
営業利益 (億円)



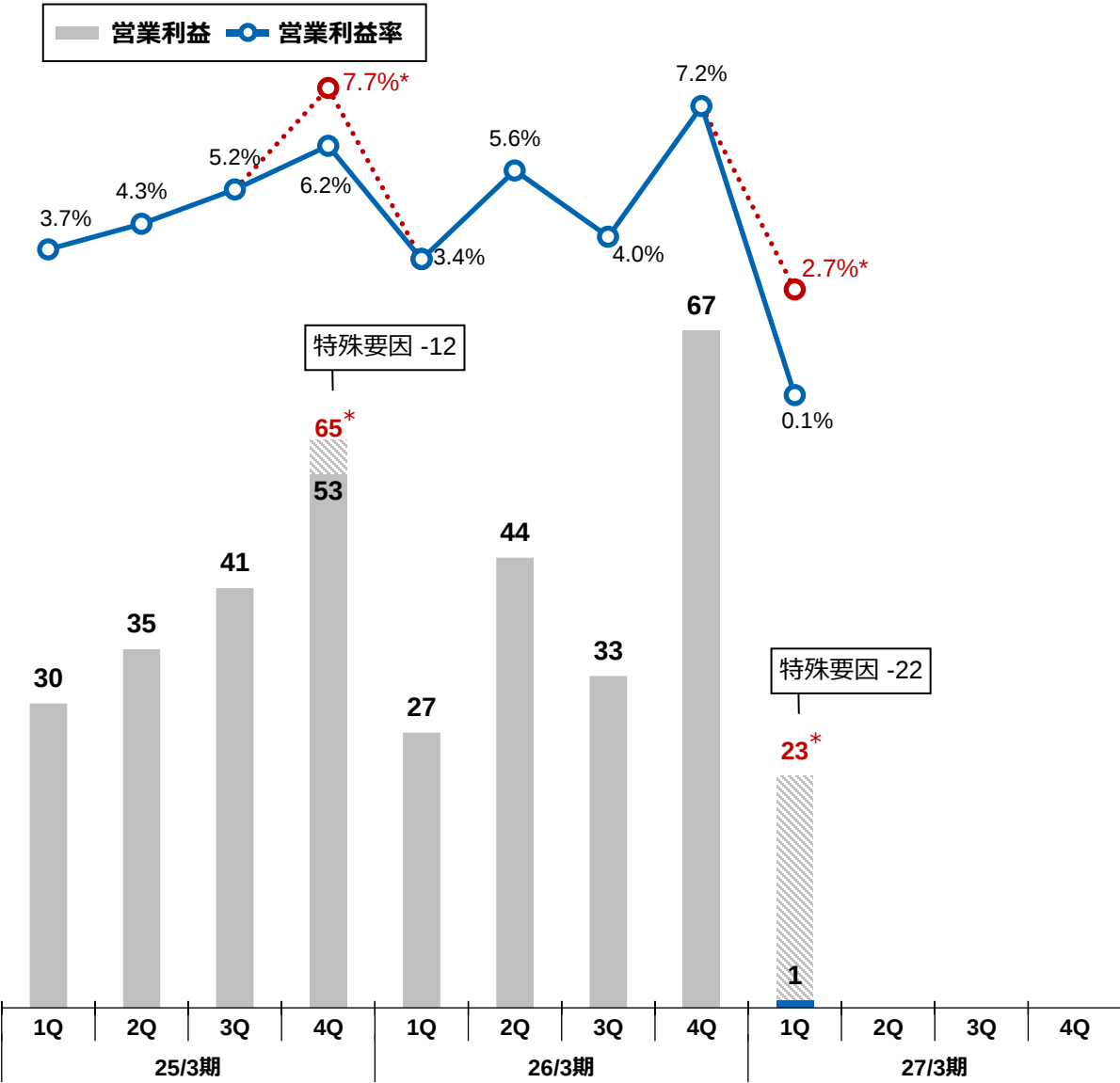
* 特殊要因除く

アクセスソリューションズ セグメント (AS) の四半期推移

売上高 (億円)



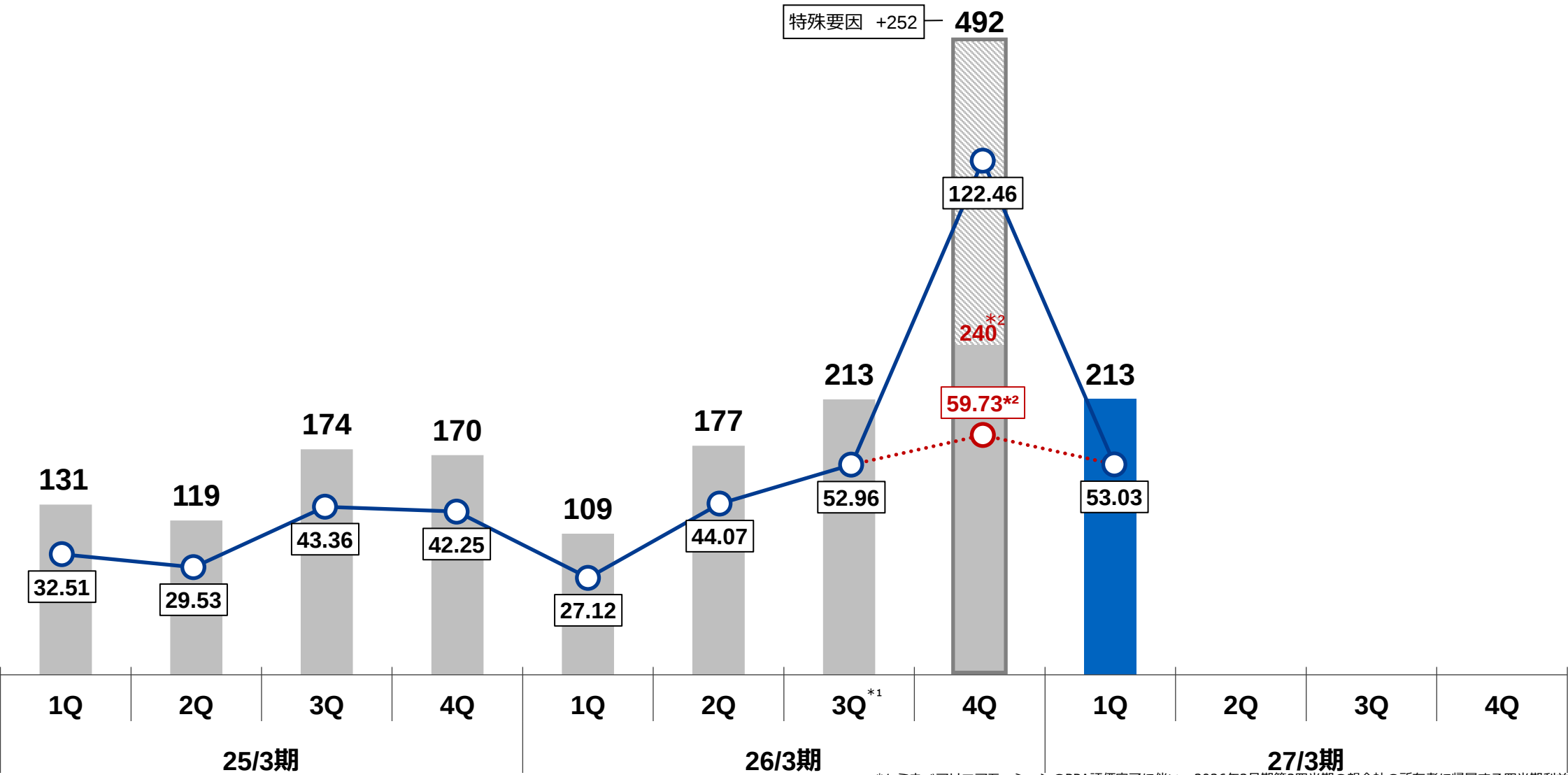
営業利益 (億円)



* 特殊要因除く

親会社の所有者に帰属する四半期利益 / EPSの四半期推移

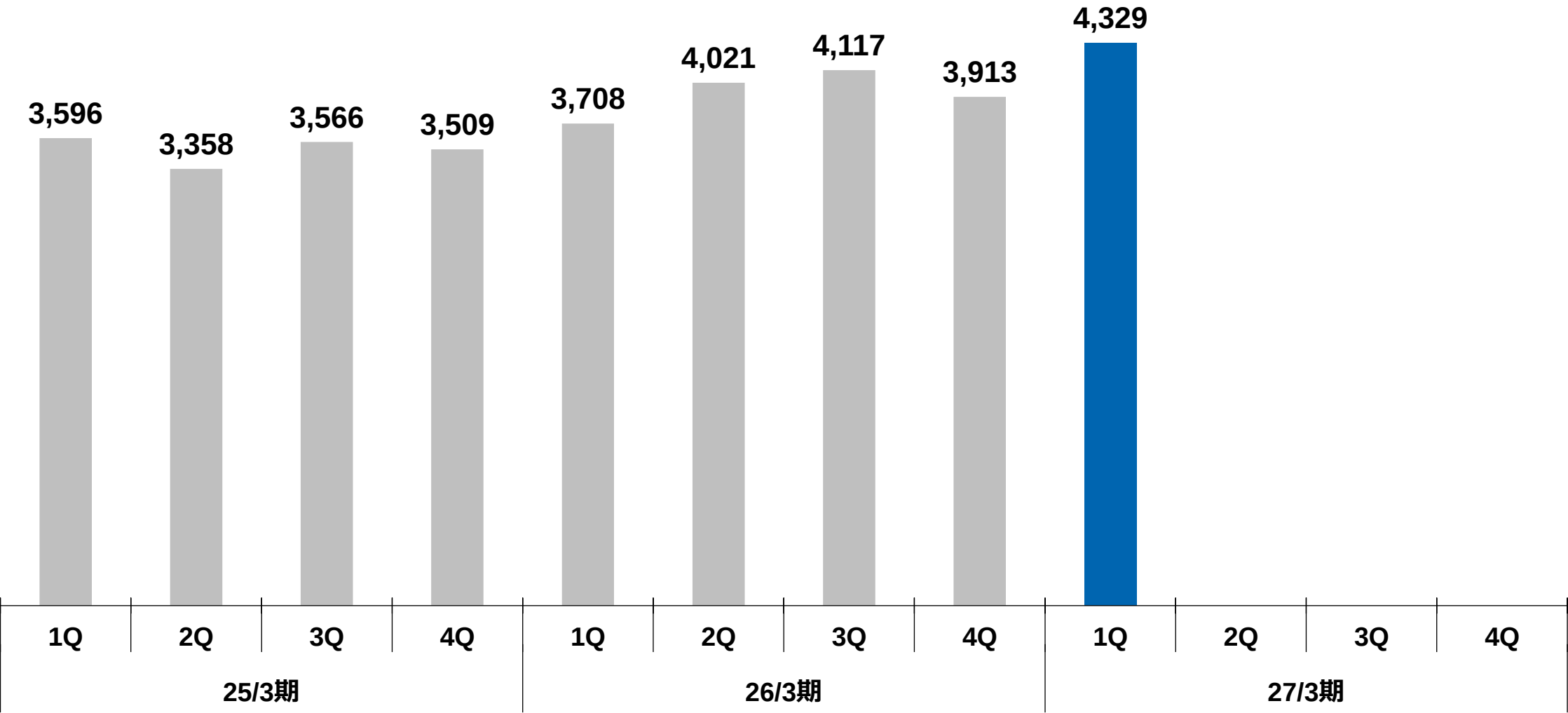
(億円) ■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益 ● 基本的1株当たり四半期利益 (円)



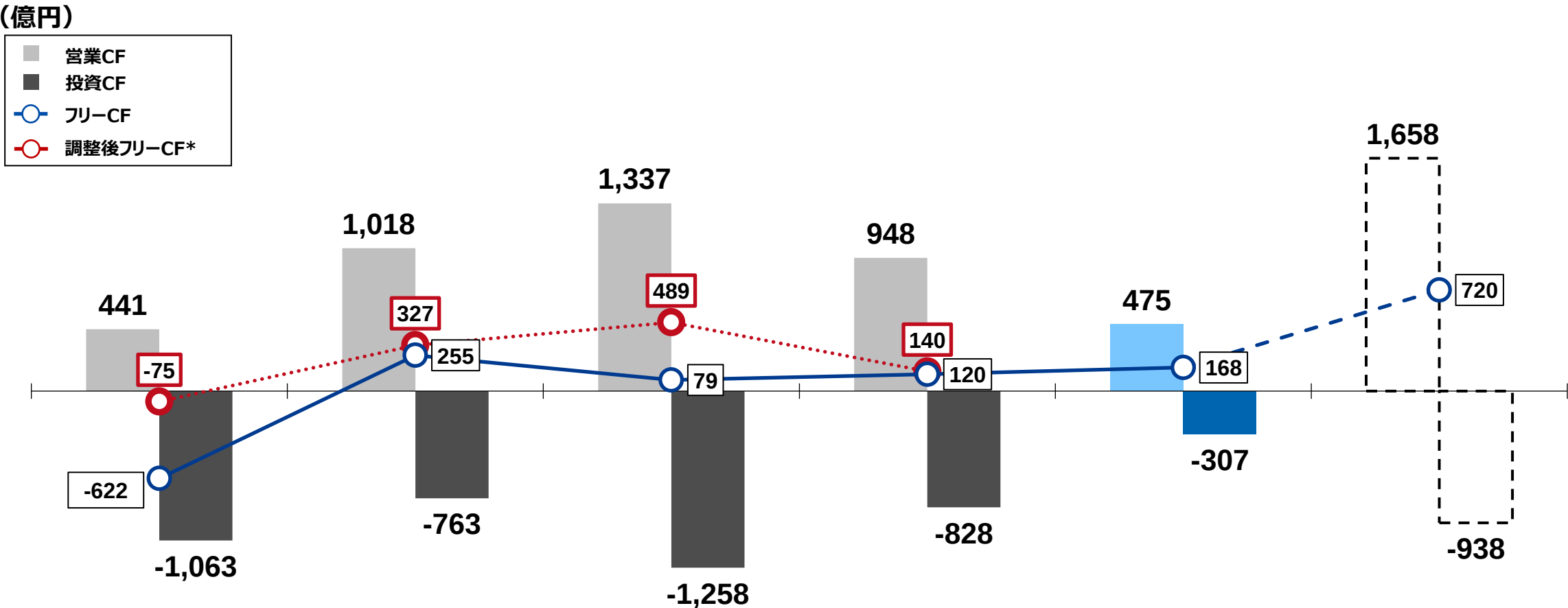
^{*1} ミネベアリアモーションのPPA評価完了に伴い、2026年3月期第3四半期の親会社の所有者に帰属する四半期利益を遡及修正
^{*2} 特殊要因除く

棚卸資産

■ 棚卸資産（億円）



営業CF、投資CF、フリーCF、調整後フリーCFの年次推移



	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期 1Q	27/3期 (予想)
調整額 (億円)	547	72	410	20	—	—
主な一過性 要因	東京本部ビル購入 M&A (本多通信工業/ 住鋳テック/ホンダロック)	M&A (RO-RA)	M&A (日立パワーデバイス)	M&A (ツバキ・ナカシマ ボールねじ 及びボールウェイ事業)	—	—

* 調整後フリーCF：フリーキャッシュフローからM&A支出や有価証券売却などの一過性要因を除いたもの

ROIC（投下資本利益率）の年次推移／四半期推移

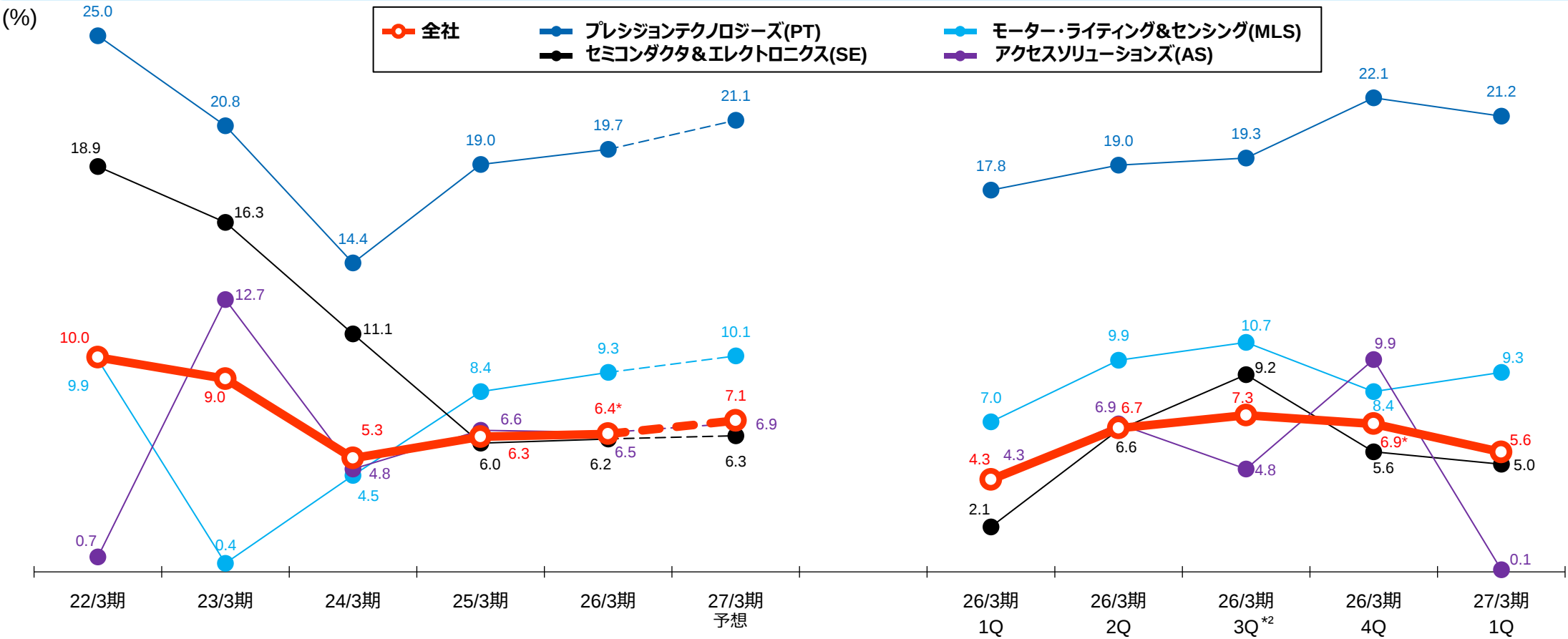
ミネベアミツミ版
ROIC

=

NOPAT
営業利益 × (1 - 税率)

投下資本
(受取手形・売掛金 + 棚卸資産 + 固定資産 - 支払手形・買掛金)

セグメント別で管理できる事業資産（売上債権・仕入債務、棚卸資産、固定資産）で算出



*1 特殊要因除く
*2 ミネベアリアニアモーションのPPA評価完了に伴い、2026年3月期第3四半期の営業利益を遡及修正
*3 2026年3月期実績につき、セグメント変更による組み換えは考慮していません

売上高、営業利益は据え置くも、当期利益を上方修正

(億円)	2026年3月期	2027年3月期		前期比		
	通期	上半期	下半期	通期	増減	伸び率
売上高	16,644	8,465	8,435	16,900	+256	+1.5%
営業利益	1,040 ^{*1}	530	670	1,200	+160	+15.4%
税引前利益	1,338	550	630	1,180	-158	-11.8%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	990 ^{*2}	405	465	870	-120	-12.2%
基本的1株当たり 当期利益 (円)	246.60 ^{*2}	100.85	115.79	216.64	-29.96	-12.1%

為替レート	2026年3月期 通期	2027年3月期 2Q-4Q想定
US\$	149.99円	155.00円
ユーロ	172.92円	182.50円
タイバーツ	4.63円	5.00円
人民元	21.05円	22.30円

*1 26億円程度の構造改革費用が含まれています
*2 特殊要因含む

27/3期 セグメント別業績予想

(億円)	2026年3月期 通期	2027年3月期			前期比	
		上半期	下半期	通期	増減	伸び率
売上高	16,644	8,465	8,435	16,900	256	+1.5%
プレジジョンテクノロジーズ	2,812	1,550	1,580	3,130	318	+11.3%
モーター・ライティング&センシング	4,565	2,400	2,520	4,920	355	+7.8%
セミコンダクタ&エレクトロニクス	5,903	2,795	2,505	5,300	-603	-10.2%
アクセスソリューションズ	3,322	1,700	1,800	3,500	178	+5.3%
その他	42	20	30	50	8	+18.8%
営業利益	1,040 ^{*1}	530	670	1,200	160	+15.4%
プレジジョンテクノロジーズ	622	345	355	700	78	+12.5%
モーター・ライティング&センシング	269	130	180	310	41	+15.1%
セミコンダクタ&エレクトロニクス	267	140	140	280	13	+5.0%
アクセスソリューションズ	171	60	125	185	14	+8.3%
その他・調整額	-290	-145	-130	-275	-	-

*1 26億円程度の構造改革費用が含まれています

*2 2026年3月期通期実績については、セグメント変更による組み換えは考慮していません

1Qとして売上高・営業利益ともに過去最高。AIデータセンター関連の好調継続

全体

- 1Qの売上高・営業利益は過去最高を更新
- ASにおける特殊要因（約22億円の構造改革費用）を吸収し、営業利益は過去最高（22年3月期196億円）を大幅に上回る（+67億円）
- PT、MLSでデータセンター向け製品が好調
- ASは自動車市場減速の影響を受けるが、ベアリング、モーターの車載向けコンテンツグロースは引き続き堅調
- 成長の5分野 + 1：航空機から航空宇宙に変更。拡大する宇宙産業の拡販を進める

プレジジョン テクノロジーズ(PT)

- 生産・販売ともに四半期平均数量過去最高を更新
- 既存設備や新工場への投資を通じ、生産能力を増強

モーター・ライティング & センシング(MLS)

- モーターはデータセンター向けを中心に好調続く。収益性も向上
- バッテリー保護モジュールの拡大も進む

セミコンダクタ & エレクトロニクス(SE)

- 半導体はスマートフォン用リチウムイオン保護ICが好調維持。AIサーバー向けEEPROM*の拡販、ファンモーター向けICの相合も進む
- 光デバイスは収益力回復進む。機構部品も売上・利益ともに想定を上回るスタート

*Electrically Erasable and Programmable Read-Only Memory

アクセス ソリューションズ(AS)

- BMWウィングレット*の量産がスタート *BMW社採用のウィングハンドル
- 構造改革費用を計上するも黒字を確保

1Qは好調に推移、通期業績予想の達成に向け順調な進捗
売上高・営業利益は保守的にみて据え置き、当期利益は上方修正

(億円)	2026年3月期			2027年3月期				
	1Q実績	2-4Q実績	通期実績	1Q実績	前期比	2-4Q計画	通期計画	前期比
売上高	3,669	12,975	16,644	4,266	+16.3%	12,634	16,900	+1.5%
営業利益	174	865	1,040	263	+50.9%	937	1,200	+15.4%
親会社の所有者に帰属する 当期利益 ※特殊要因除く	109	629 (実績値 881)	738 (実績値 990)	213	+95.6%	657	870	+17.8%
基本的 1株当たり 当期利益 (円) ※特殊要因除く	27.12	156.75 (実績値 219.48)	183.87 (実績値 246.60)	53.03	+95.5%	163.61	216.64	+17.8%

ベアリングの外販数量は四半期ベースで過去最高を更新 下期も最高水準を見込む

主なポイント

1 ベアリング

- 1Q平均外販数量（3.1億個/月）、平均生産数量（3.4億個/月）ともに過去最高を更新
- データセンター向け需要が想定を上回り好調に推移
- 中長期的な成長を見据え、市場シェアの維持・拡大が優先事項

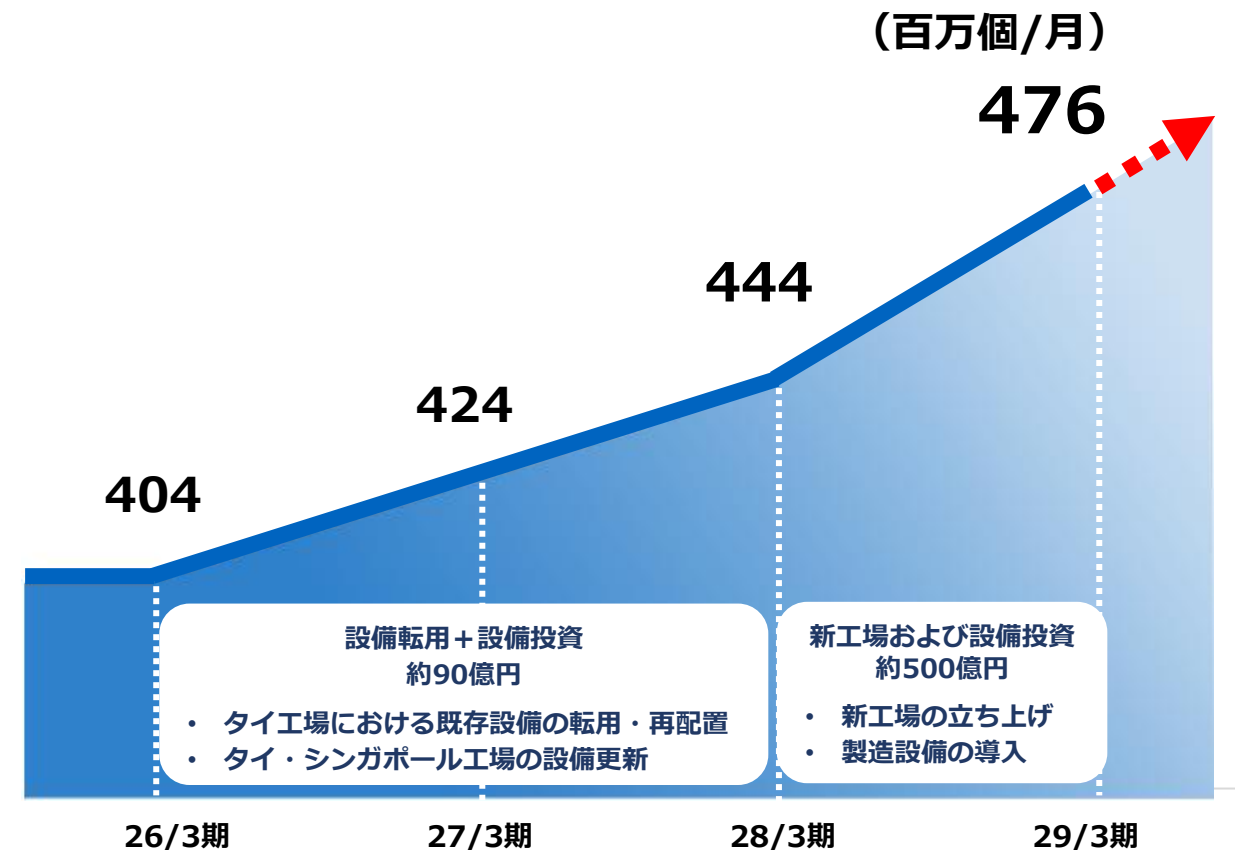
2 航空宇宙

- 航空機需要を背景に販売が堅調
- LTA（長期契約）の更改に伴う価格改定を背景に、1Qは過去最高の利益率を達成。下期以降もさらなる収益改善を見込む

3 PMC

- HDD向け需要が堅調に推移
- LiDAR向け車載部品の販売拡大が増収に寄与

ボールベアリング生産キャパシティの拡大計画



AIサーバー・ヒューマノイドロボットに加え、ニューモビリティなども活況

主なポイント

1 モーター

- AIサーバー需要を追い風に、スピンドルモーター、ファンモーターが引き続き堅調（後述）
- エネルギー価格上昇を背景に、欧州を中心に太陽光発電向けファンの需要拡大
- ラグジュアリーシートのニーズ増に伴い、車載向けシートファンおよび関連製品の拡販推進

2 エレクトロデバイス

- AIサーバー市場の拡大により、BBU向けバッテリー保護モジュールが好調。生産能力増強のため、本年10月よりメキシコ工場にて新規生産を開始予定

3 センシングデバイス

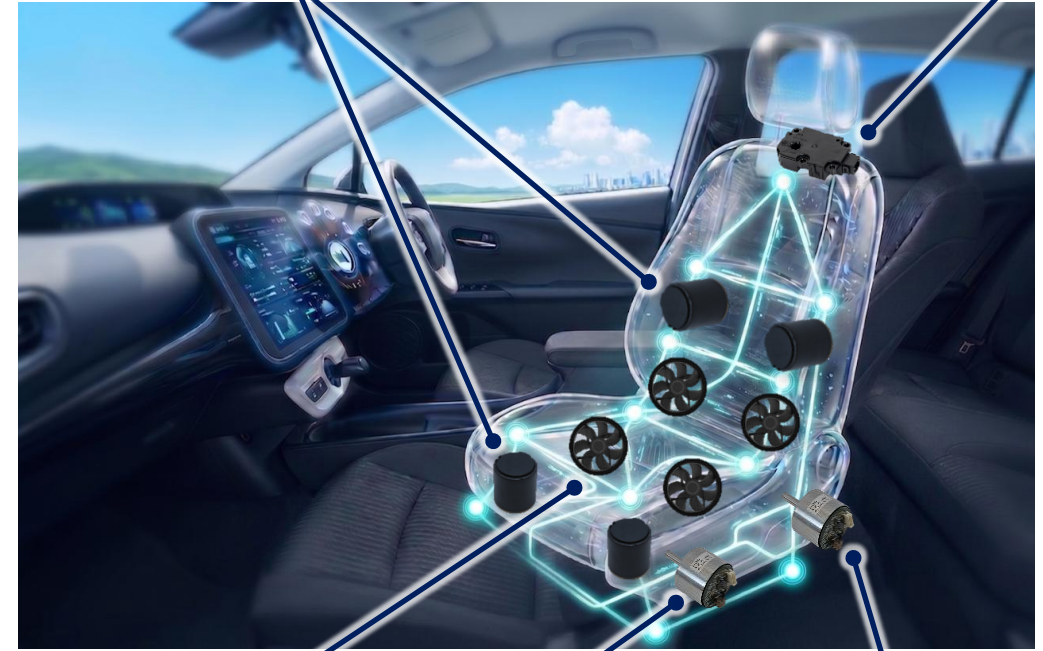
- ヒューマノイドロボット向けにひずみゲージ薄膜銅センサー「ミネージュ」および関節用トルクセンサー等の引き合いが増加

ニューモビリティの成長ドライバー

「相合」を活かし、シート周りの多様な製品
（車載向けモーター）をご提案

警告振動：レゾナントデバイス

加速度センサーの角度補正：
HALLアクチュエーター



シートベンチレーション：
ファン

スライド：
BLDCモーター

リクライニング：
BLDCモーター

多彩なデバイスを“繋ぐ”ネットワークで、シートの価値を最大化

半導体はリチウムイオン保護IC好調継続 AIサーバー向け半導体の拡販・相合も進む サブコア事業の収益回復も順調に推移

主なポイント

1 半導体

- 中～高価格帯スマートフォン向けを主力とするリチウムイオン保護ICは好調を維持
- AIサーバー向けEEPROM、医療向けICも堅調
- 当社製サーバー用ファンモーター向けドライバーICの活用も進み、相合を加速
- 滋賀工場は今期中の単月黒字化に向け、リチウムイオン保護IC、MEMS、IGBT（ファウンドリ含む）の生産を進める。自社IGBTは増産へ

2 光デバイス

- 収益性回復進み1Qは実質営業利益率7%を確保

3 機構部品

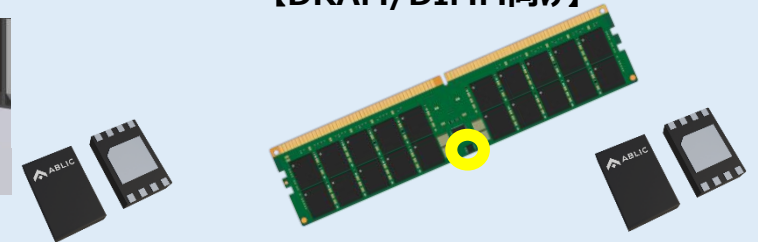
- 売上・利益ともに想定を上回るスタート

AIサーバー向け半導体

EEPROM* 【SSD向け】

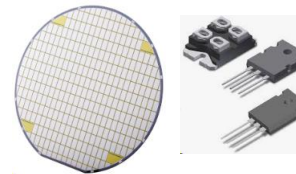


【DRAM/DIMM向け】



*Electrically Erasable and Programmable Read-Only Memory:電気的に書き込み・消去が可能
電源がなくても記憶情報を保持し続けられる不揮発性のメモリの一種

開発・拡販中 パワー半導体 (IGBT/ダイオード)



開発・拡販中 アナログ半導体 エアフローセンサー



BMWウィングレット*の量産開始 自動車業界減速の影響を受けるも、今期後半以降は挽回を見込む

主なポイント

1 4輪向けビジネス

- 中国フラッシュハンドル規制の影響は代替提案により最小限に抑制
- 8月よりBMWウィングレット*の量産を開始。ひずみゲージ技術を応用した高付加価値製品の開発を加速
- 欧州における構造改革を着実に実施し、強固な事業基盤を確立

2 2輪向けビジネス

- 主要顧客の強固な市場シェアを背景として、東南アジアを中心に外部要因に左右されず堅調に推移

BMWウィングレット*の量産開始

6月30日に発表された新型「BMW X5」に搭載

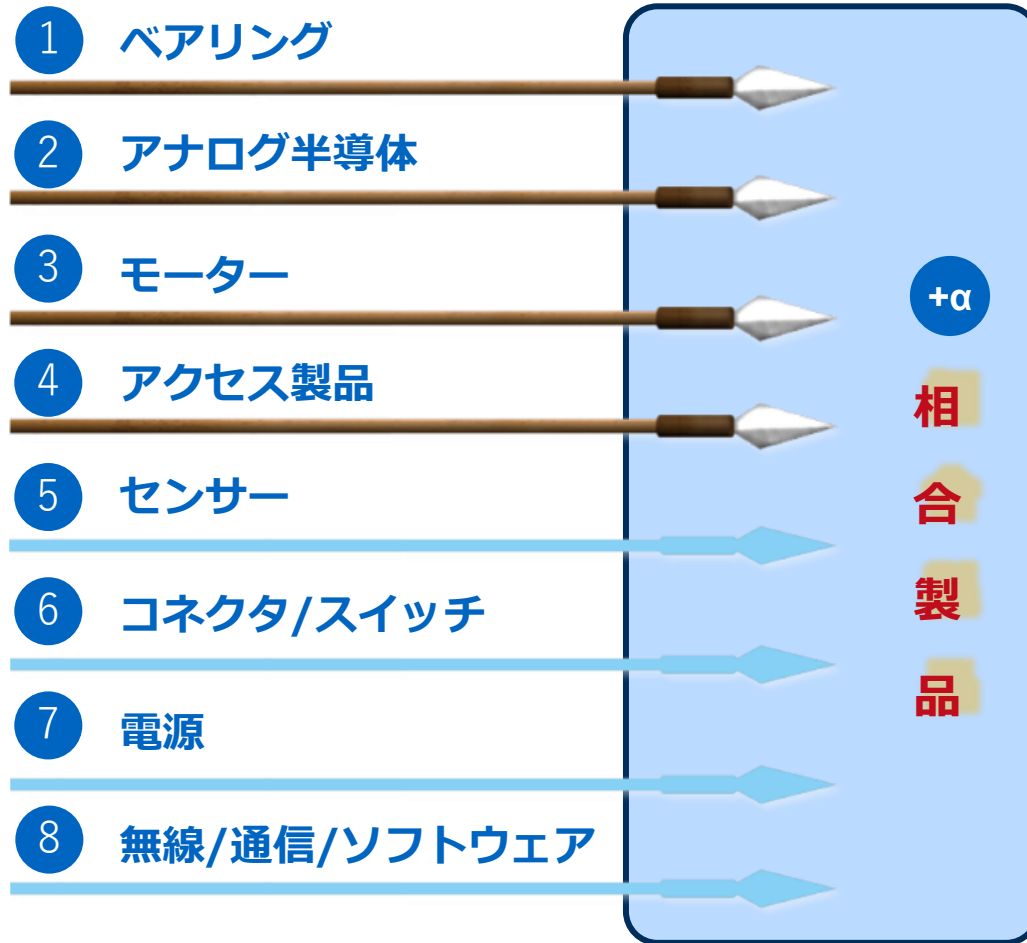


BMWウィングレット*

*BMW社採用のウィングハンドル

開発が進む宇宙産業への本格参入を見据え、プラス1を「航空宇宙」へ

コア製品「8本槍」(製品ポートフォリオ)



成長の5分野+ 1 (注力アプリケーション)

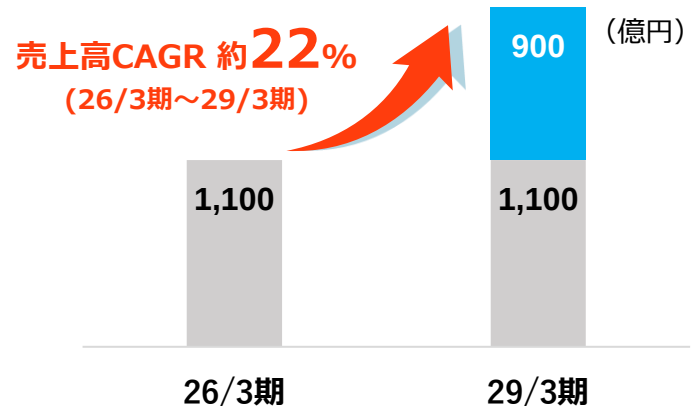


空冷需要は引き続き好調、水冷システム関連需要も今後の成長ドライバーへ

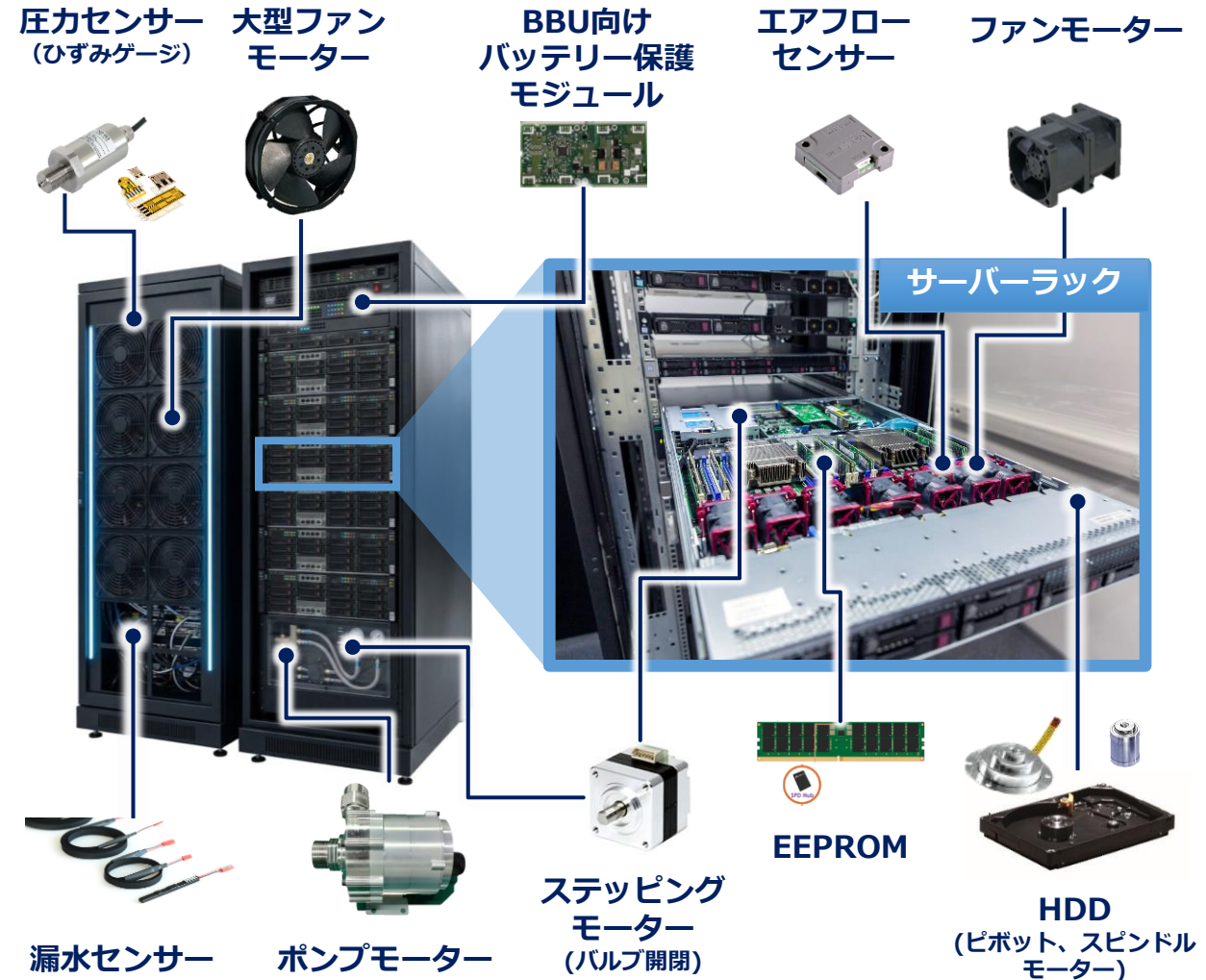
直近のビジネス動向

- ・ **ベアリング**：主要ファンモーターメーカーから強いフォーキャストを獲得
- ・ **HDDスピンドルモーター**：ニアラインを中心に需要は堅調
- ・ **ファンモーター**：AIサーバー向け電源用ファンが好調
- ・ **大型ファンモーター**：高発熱サーバー向けの新規の引き合いが急増
- ・ **バッテリー保護モジュール**：AIサーバー向け電源（BBU）の需要急増により今期大幅増
- ・ **水冷システム関連**：電動ポンプやバルブ等の引き合いが本格化

売上高見込み



AIサーバーにおける搭載ソリューション

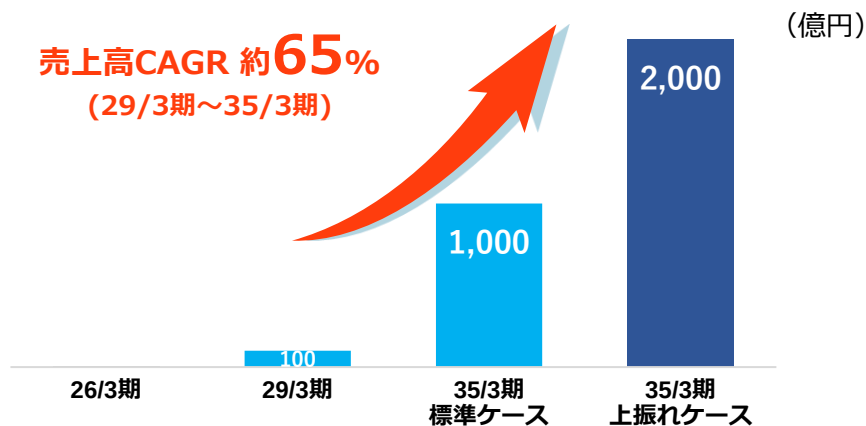


主要部品の受注や引き合いが拡大中、独自の次世代技術で更なる成長基盤を確立

直近のビジネス動向

- ・ **ベアリング**：米国大手をはじめ、ボディ用途等で大型受注を獲得
- ・ **小型DCモーター**：ハンド・ボディ用途向けに、小径～中径サイズのカスタム仕様の引き合いを多数獲得
- ・ **トルクセンサー**：関節部向けで参入を果たし、新規案件の獲得を推進
- ・ **ボールねじ**：ハンド用引き合いを獲得、受注へ向けて量産体制の構築を加速
- ・ **精密機械加工部品**：精密加工の強みと設計提案力を活かし、ボディ用部品の需要開拓が本格化

売上高見込み



ヒューマノイドロボットにおける搭載ソリューション



宇宙インフラと次世代輸送分野は、今後のPTの成長ドライバーへ

【人工衛星】

【宇宙輸送用ロケット&推進システム】

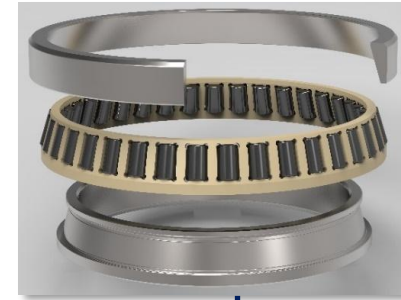


ハイブリッドセラミックボールベアリング
【リアクションホイール・アセンブリ向け】



複列アンギュラコンタクトボールベアリング
【レーザー宇宙通信端末（LCT）向け】

ローラーベアリング
【ロケット燃料供給用プレバルブ向け】



ベアリング
【スロットバルブ & ターボポンプ向け】



SOS式圧力センサー

【ロケットエンジン、液体水素タンク、
液体酸素タンク等向け】



今期は10円の増配を実施予定

配当

	中間	期末	年間	前年度比 (年間)
26/3期	25円	25円	50円	+5円
27/3期 (予定)	30円	30円	60円	+10円

27/3期の年間配当は、2026年5月のガイダンスのとおり**連結配当性向30%程度**を目安とし、経営環境を総合的に勘案したうえで決定する方針です

自己株式取得

株主還元につきましては配当を基本としつつ、余剰キャッシュフローが生じた際には、経営環境や株価水準を総合的に勘案し、自己株式の取得を機動的に検討してまいります



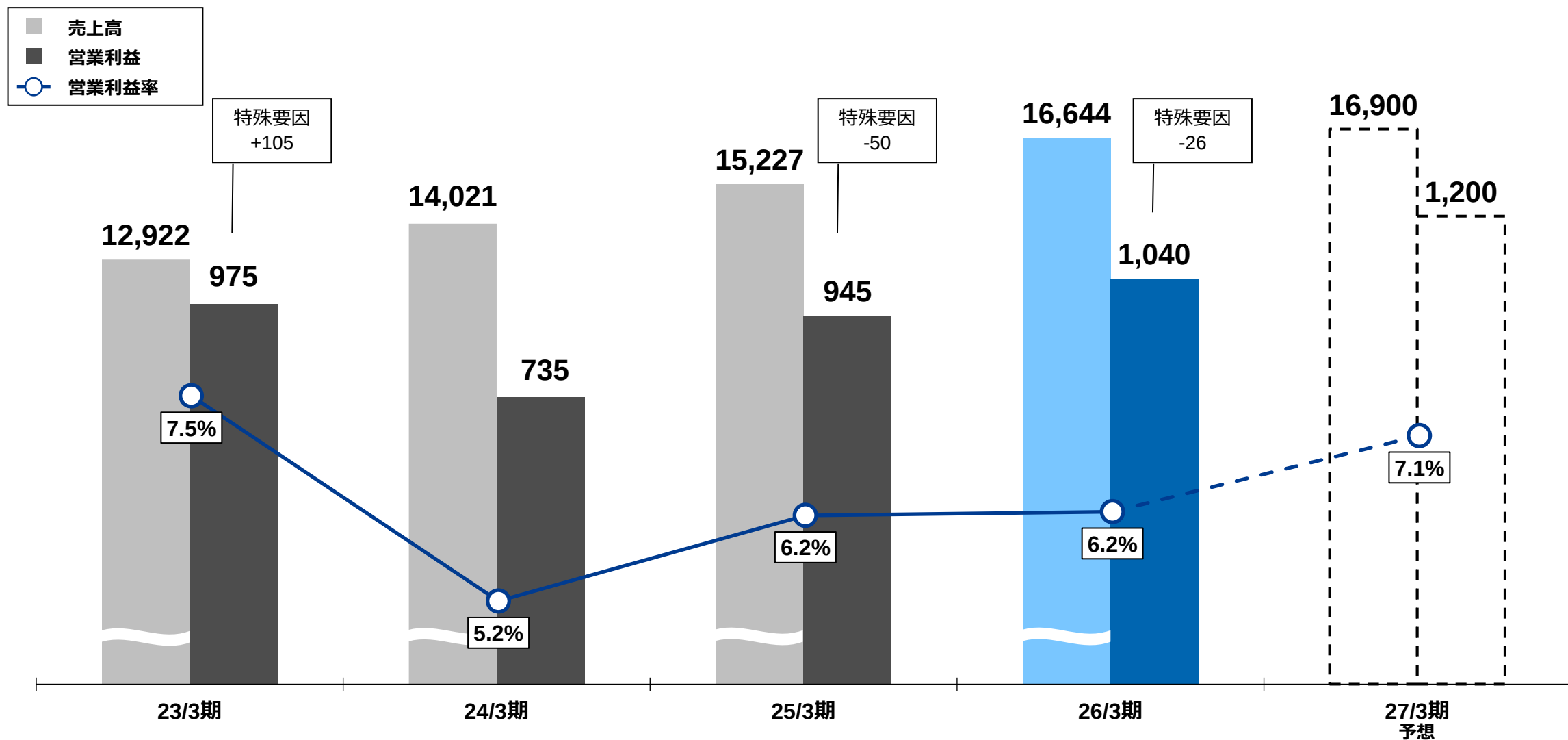
当資料で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベアミツミ株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。

參考資料

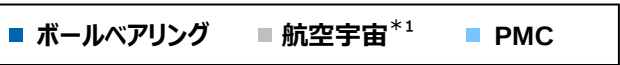
売上高、営業利益、営業利益率の年次推移

(億円)

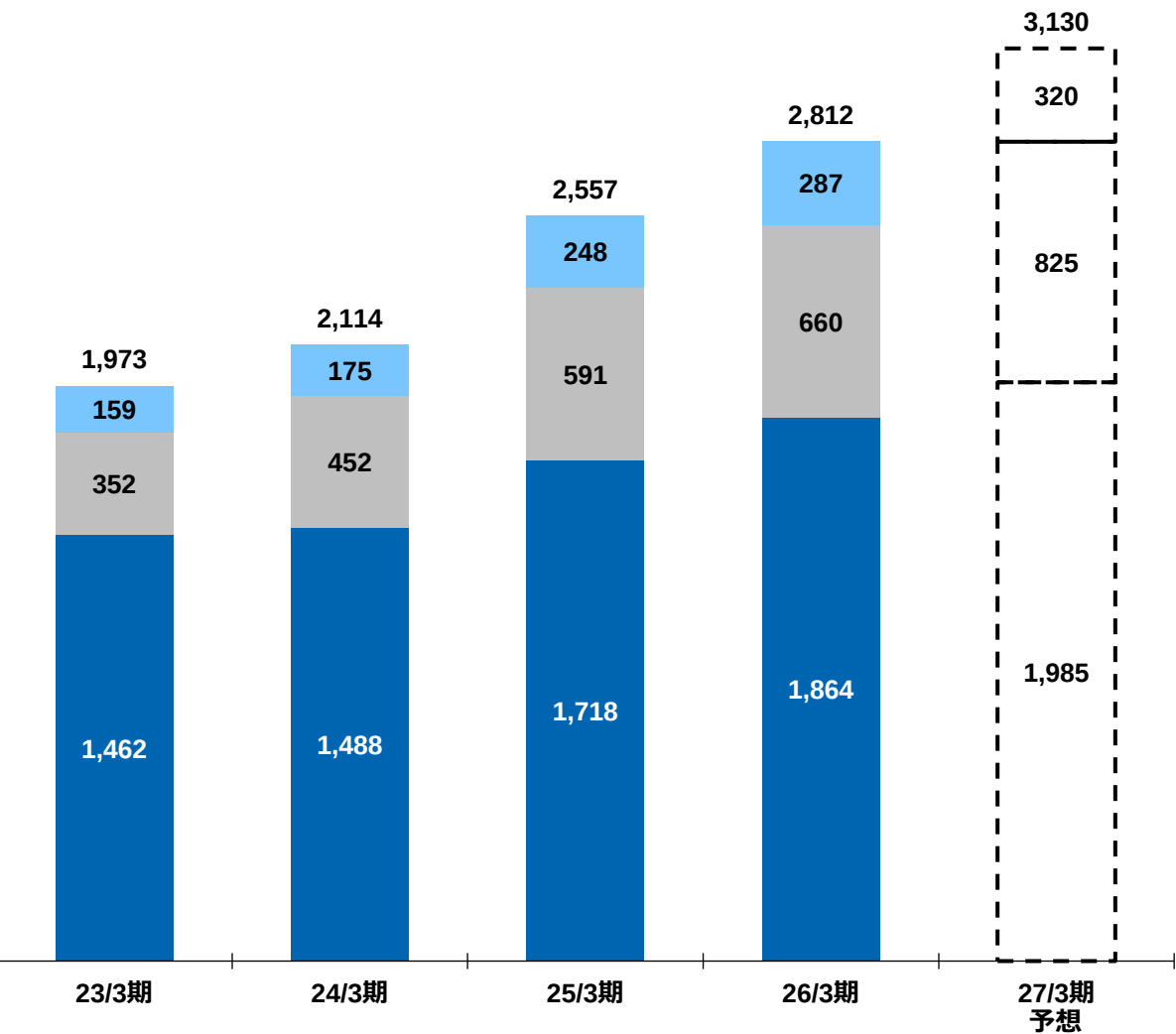


プレジジョンテクノロジーズ セグメント (PT) の年次推移

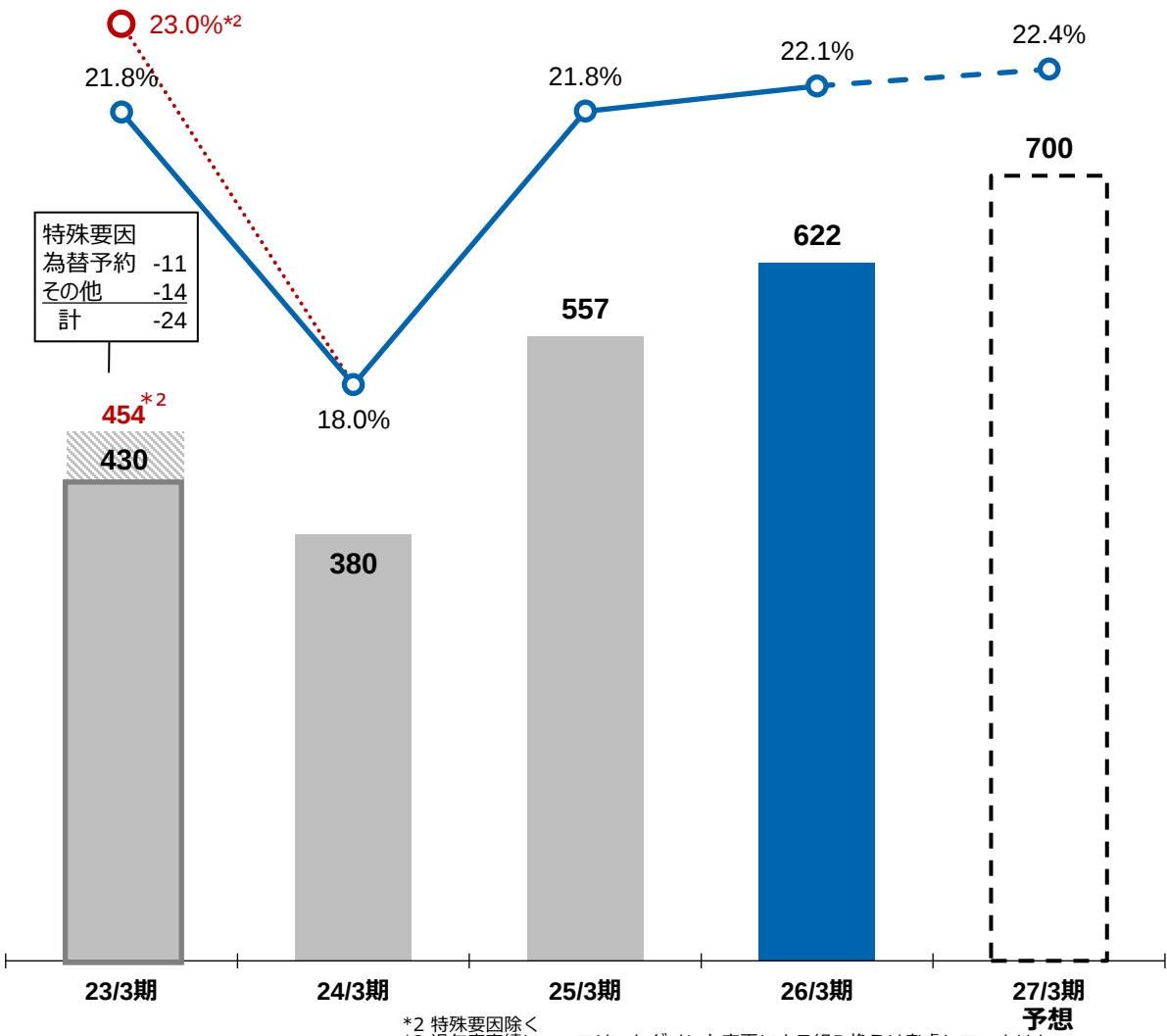
売上高 (億円)



^{*1} 27/3期より、サブセグメント名をロッドエンド・ファスナーから航空宇宙に変更



営業利益 (億円)



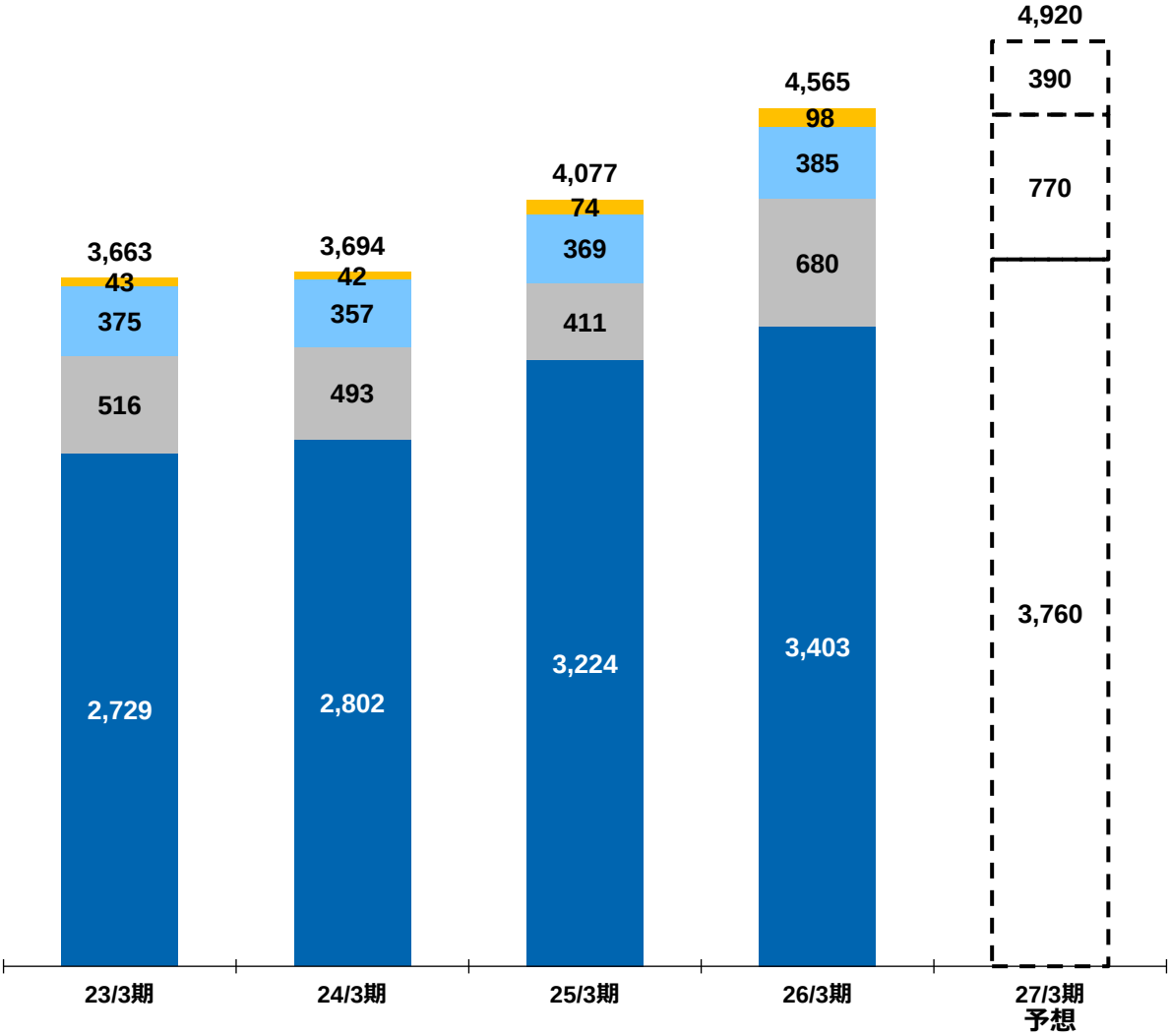
^{*3} 過年度実績については、セグメント変更による組み換えは考慮していません

モーター・ライティング&センシング セグメント (MLS) の年次推移

売上高 (億円)

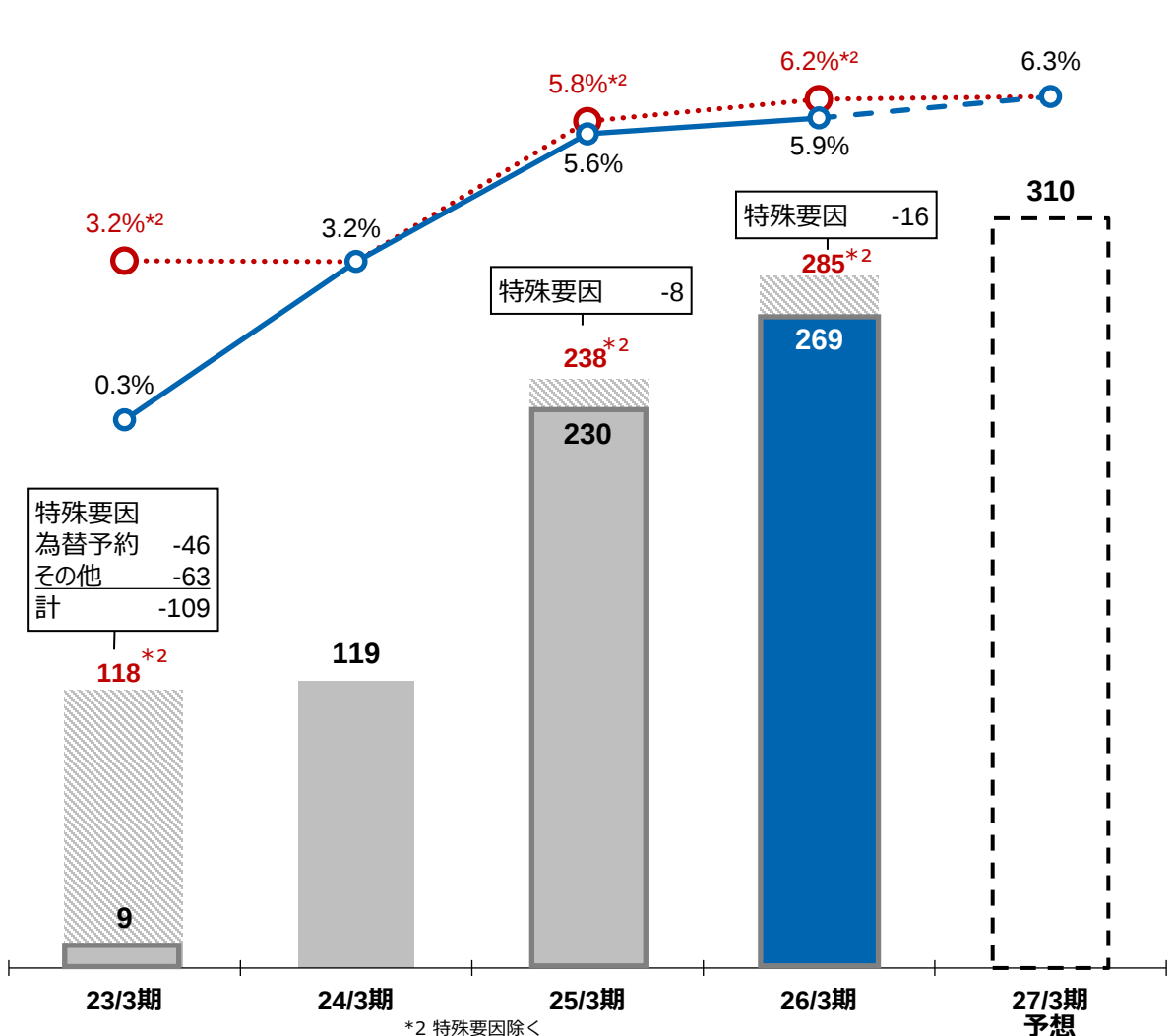
■ モーター ■ エレクトロデバイス ■ センシングデバイス ■ その他*1

*1 27/3期より、MLSのサブセグメントのその他に属していた航空機等大型加工製品をPTの航空宇宙に移管



営業利益 (億円)

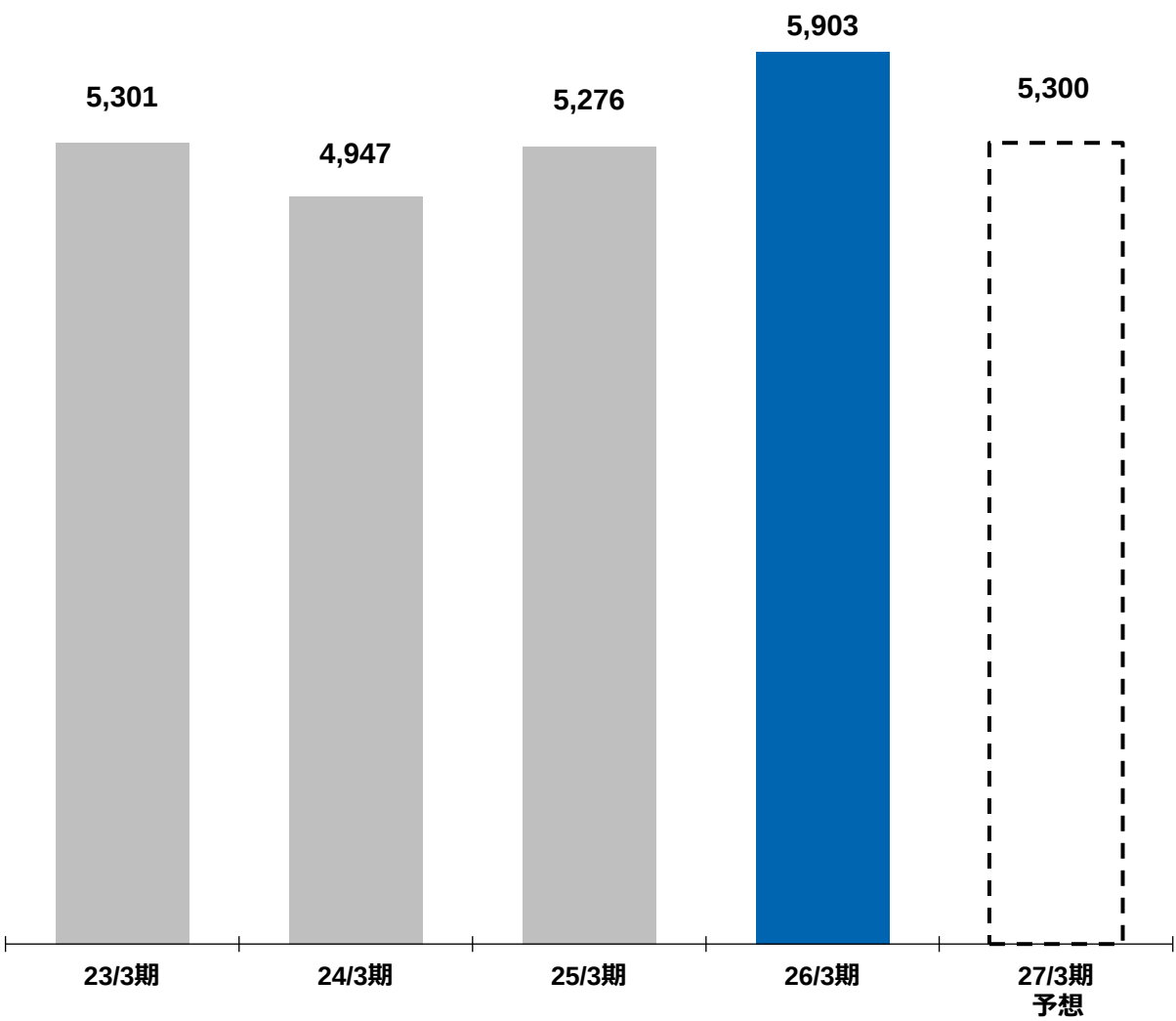
■ 営業利益 ● 営業利益率



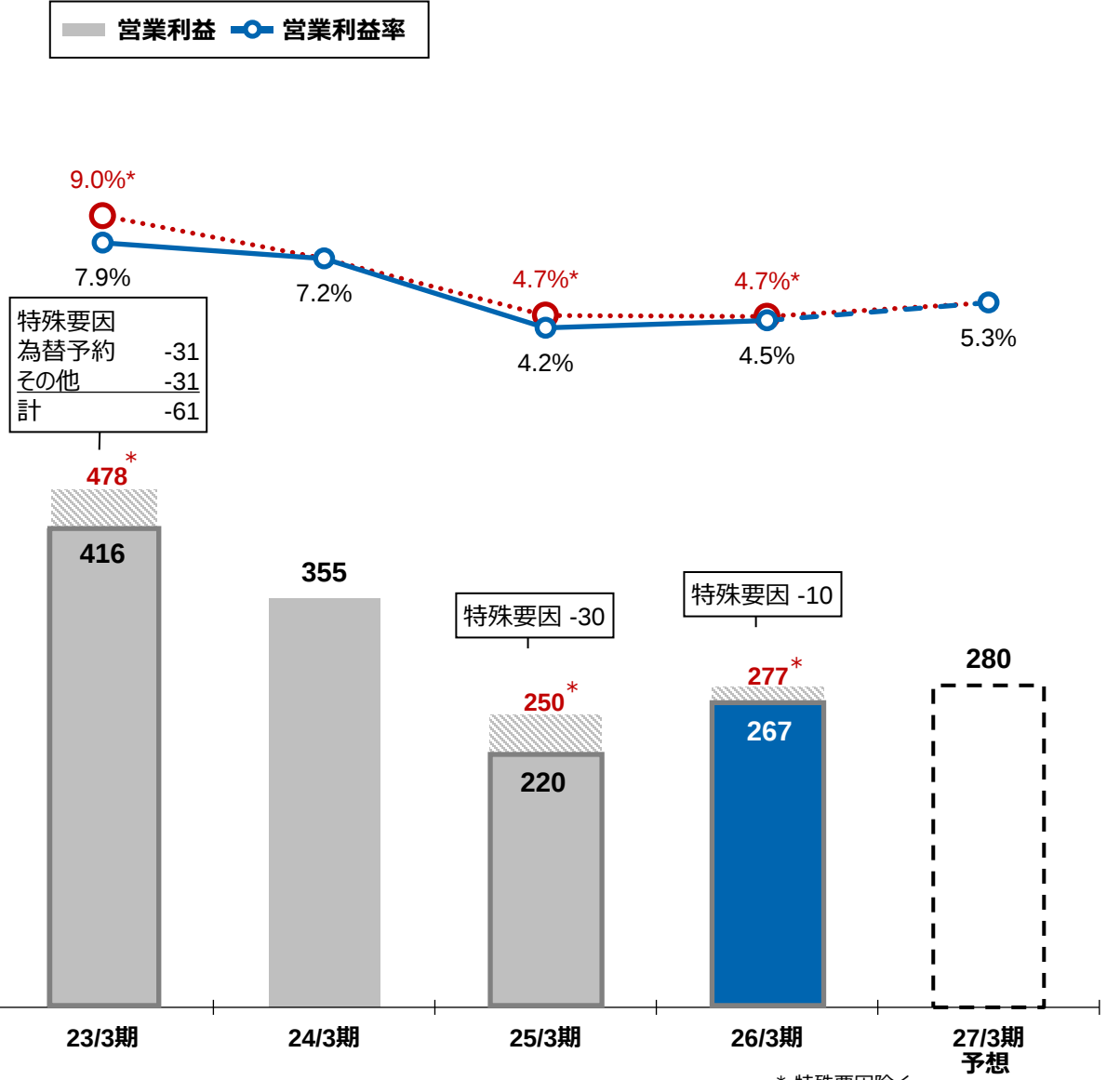
*2 特殊要因除く
*3 過年度実績については、セグメント変更による組み換えは考慮していません

セミコンダクタ&エレクトロニクス セグメント (SE) の年次推移

売上高 (億円)

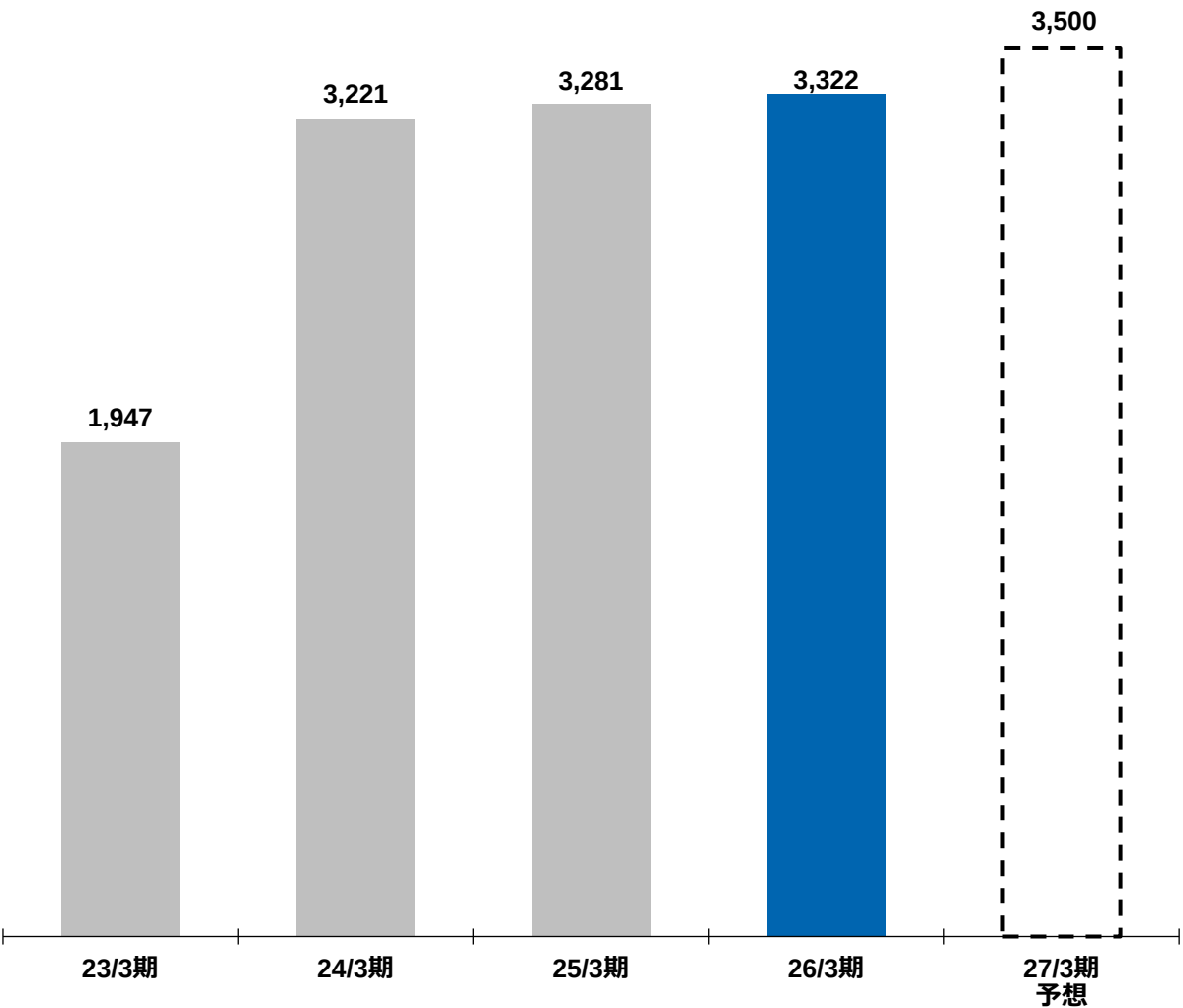


営業利益 (億円)

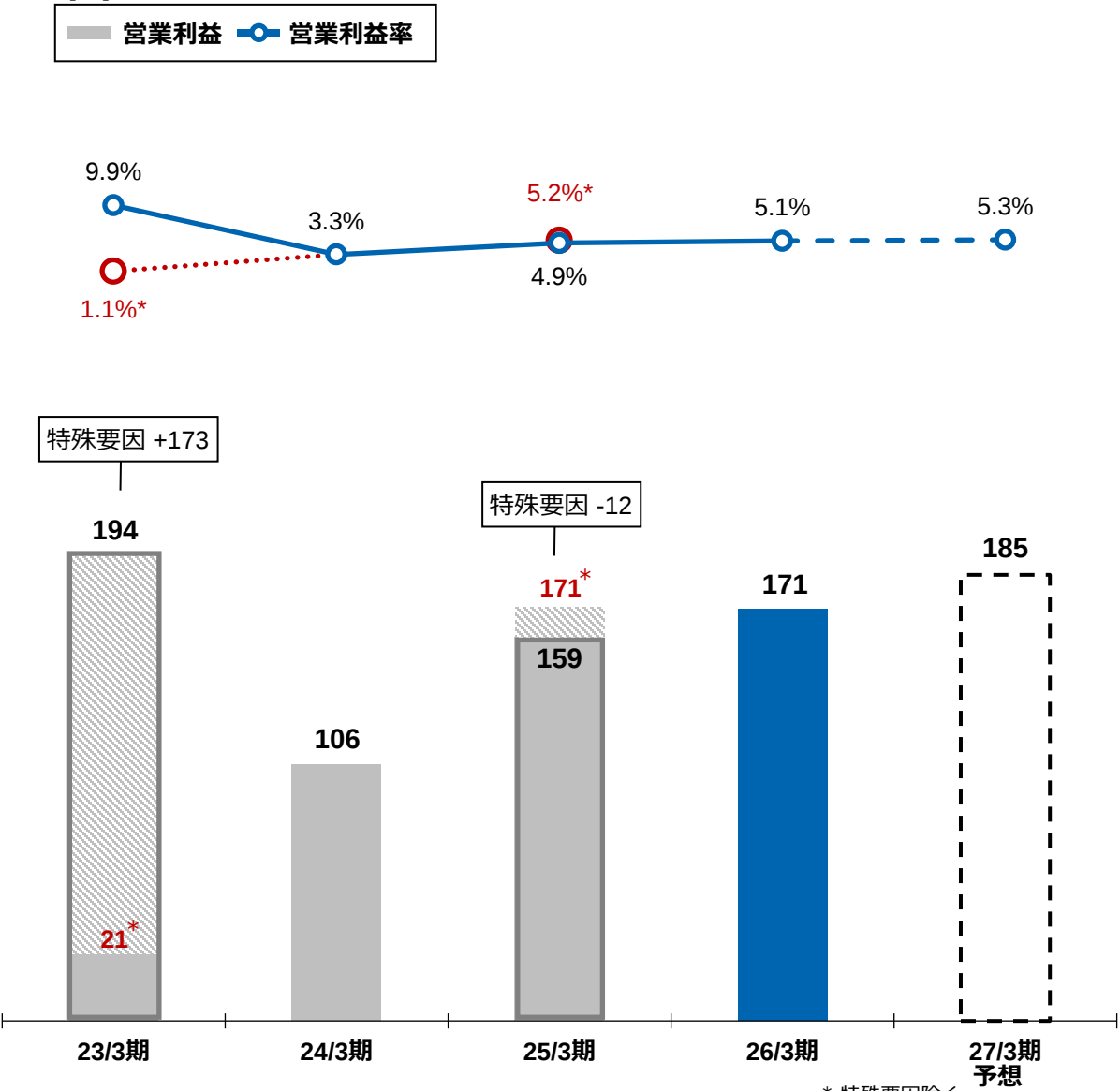


アクセスソリューションズ セグメント (AS) の年次推移

売上高 (億円)



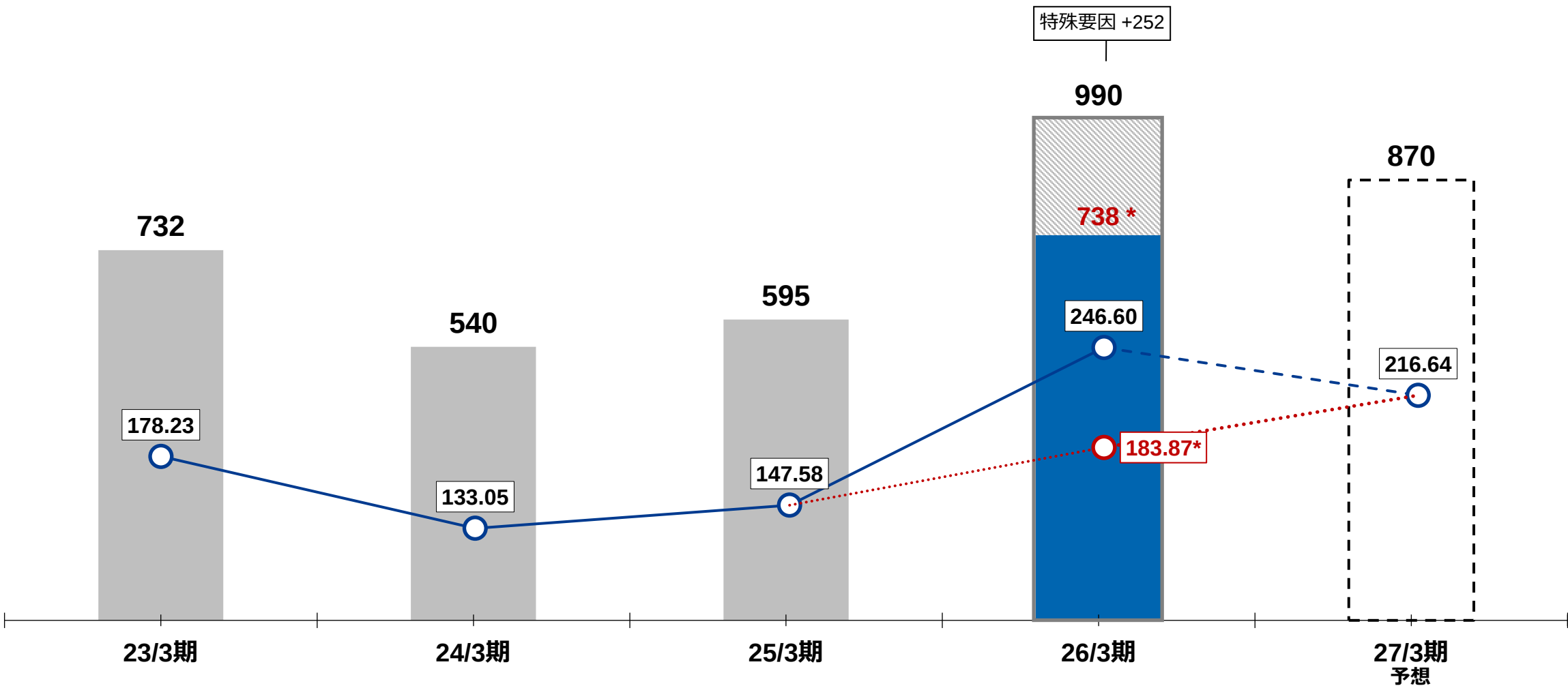
営業利益 (億円)



* 特殊要因除く

親会社の所有者に帰属する当期利益 / EPSの年次推移

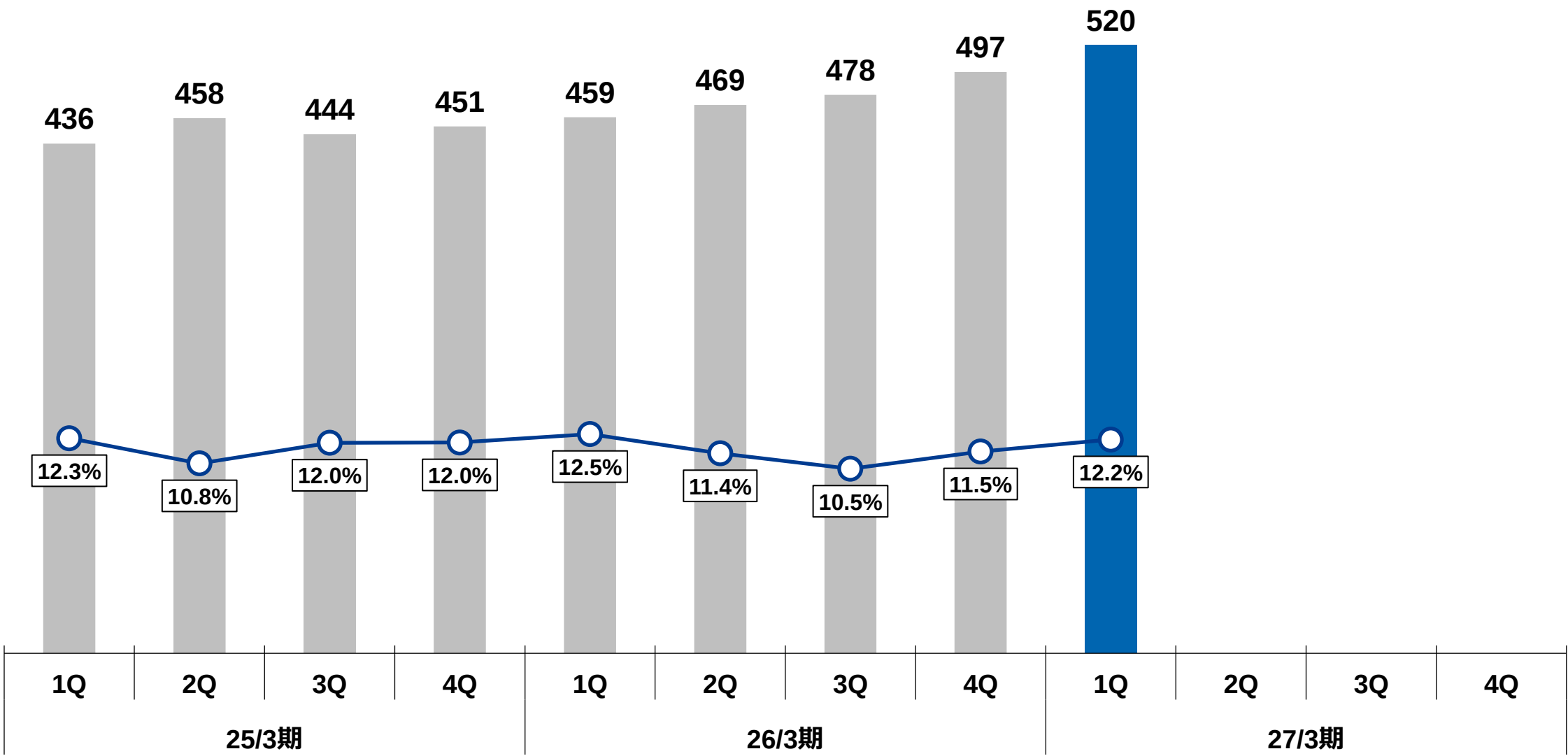
(億円) ■ 親会社の所有者に帰属する当期利益 ● 基本的1株当たり当期利益 (円)



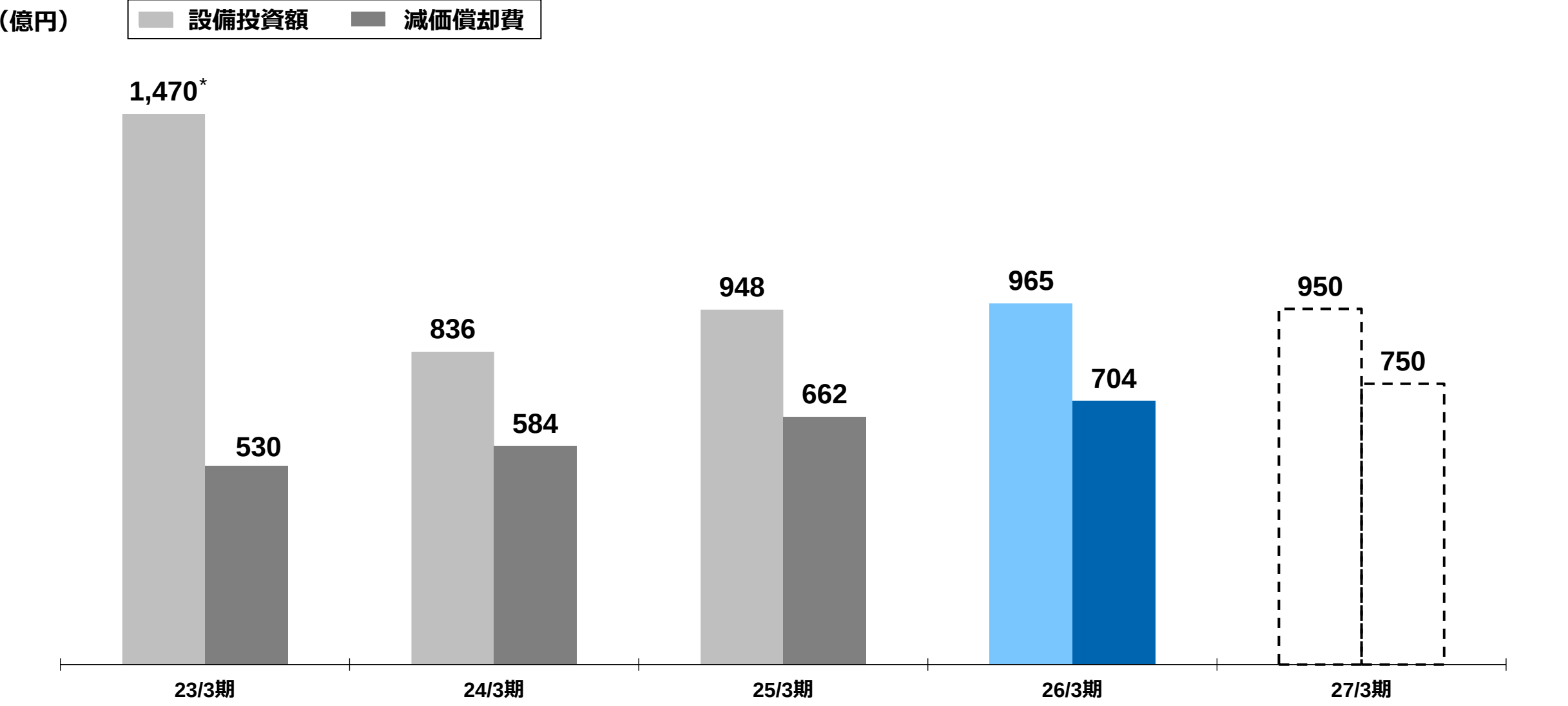
* 特殊要因除く

販管費の四半期推移

(億円) ■ 販管費 ● 売上高販管費比率



設備投資額、減価償却費の年次推移



* 23/3期の設備投資額には、新本部ビル取得費用が含まれています。